

WATCH

SCHOOL GUIDE 2022



HIKO MIZUNO COLLEGE OF JEWELRY

WATCH MAKER, WATCH MAKER MASTER

TOKYO / OSAKA



日本村有限公司 NIHON MURA CO.,LTD. <https://news.nihonmura.tw>
10552 台北市松山區復興北路73號7樓之2 TEL: (02)8772-7977 aiueo@nihonmura.com
營業時間: 週一/六 9:00-17:00, 週二-五 9:00-21:00(日本遊學·留學諮詢, 採預約制。)





人の一生によりそう —— 時計修理師の仕事

ある時計師のこんな話があります。娘さんが父親の動かなくなった時計を修理に持ってきました。父親が不治の病にかかってしまい、大切にしていた時計が動くところをもう一度見せてあげたいとのこと。時計師は時計の裏蓋をあけて驚きました。そこにはなんと自分のサインがあったのです。それは30数年前に自分が修理した証でした。駆け出しの頃に自分が修理した時計。その時計が数十年の時を経て、再び自分の元に戻ってくる。しかも、その持ち主の命の灯が消えかかっているその時に…。完成した時計を持っていくと父親はとても喜んで、その秒針の動きをずっと眺めていたそうです。けれどもその数週間後、父親は時計の音を聞きながら天国へと旅立ってしまいました。

時計はその構造の精緻さ、美しさもさることながら、我々のもっとも身近な肌身の上で人生の時を刻む、特別なものです。時計に新たな生命を吹き込む時計師の仕事は、生涯をかけて付き合えるすばらしい仕事ではないでしょうか。

CONTENTS

- 03 特集ページ
「ようこそ、深淵なる時計の世界へ」
- 08 卒業生インタビュー
- 16 学校特長・コース紹介
- 28 企業賞・コンテスト
- 30 特別授業
- 32 イベント
- 34 その他の学び・時計製作 研究生制度
- 36 講師陣
- 38 在校生インタビュー
- 42 就職・内定者インタビュー
- 44 就職サポート・資格
- 46 校舎・設備

小さなケースの中には“宇宙”が詰まっている。

ようこそ、深淵なる時計の世界へ

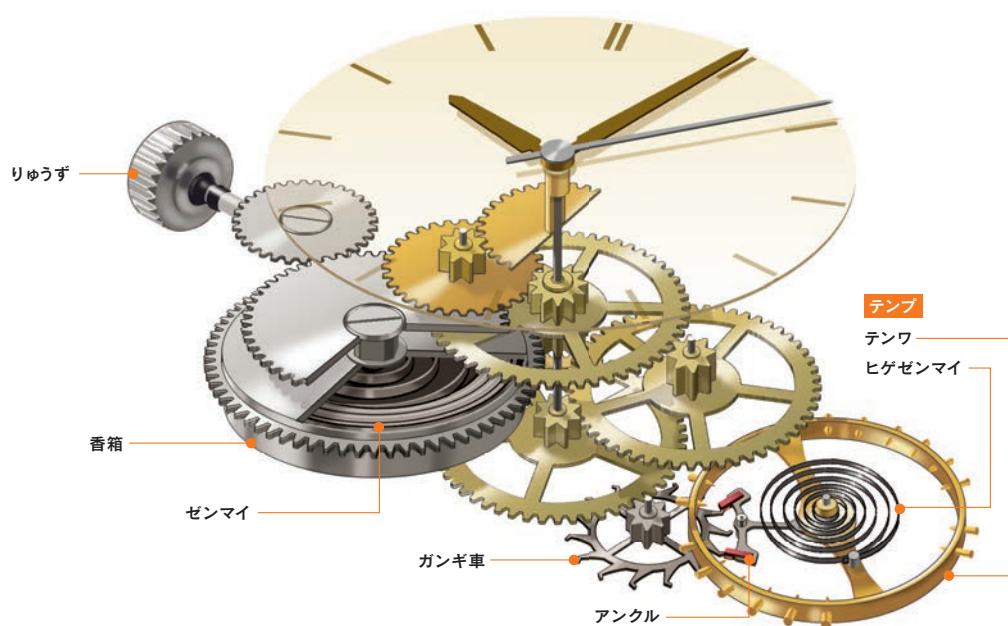
目には見えないけれど、人の営みを円滑に動かす基準となっている“時間”。
この時間という概念を表示するのが「時計」です。人類が生み出した偉大な発明品は、
今も人々を引き付けてやまない“知的な魅力”を持っているのです。

SPECIAL CONTENTS.01

| まずは基本のキ。 |

機械式時計の仕組みを知りたい

ひとことで時計といっても、そのメカニズムには違いがあります。
最も伝統的な「機械式時計」は、どういう仕組みになっているのでしょうか？



時計のメカニズムは、駆動方式によって異なります。ゼンマイ仕掛けの「機械式」と電池式の「クォーツ式」、その両方を兼ね備える「ハイブリッド式」が基本形。その中で最も歴史が長いのが「機械式」で、現存する最古の機械式時計は1370年にドイツで作られたものです。その技術は現代へと受け継がれますが、パーツ素材などは進化しても基本メカニズムはほとんど同じ。つまり、時計は大切に守られてきた“遺産”なのです。

機械式時計の動力源は「ゼンマイ」。このゼンマイを収めるのが「香箱」で、「りゅうず」で巻き上げられたゼンマイのほどける力が回転運動となり、噛み合う歯車を順番に回していま

す。ただし力をためたゼンマイは、その回転にブレーキをかけなければ一瞬でほどけてしまいます。そこで歯車が適切な速度で回転するようにブレーキをかけているのが、「ギャング車」と「アンクル」からなる脱進機と「ヒゲゼンマイ」や「テンワ」で構成されるテンブという部分です。

時計技術者の仕事とは、小さなパーツたちを正確に組み立てるだけではありません。歯車に取り付けられた針が、分針なら60分で一周（秒針なら60秒で一周）するように、テンブや脱進機の動きを調整するのも大切な仕事。繊細なパーツに対して丁寧な作業を施し、小さな時計に命を吹き込むのです。

| 時計のマニファクチュール都市 |

スイスと日本、時計はどこで生まれる？

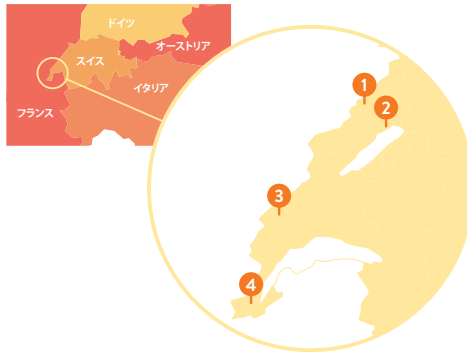
1300年前後に機械式時計が誕生してから世界各国で生産されてきた時計。

スイスと日本ではどこで生み出されているのでしょうか。

+

スイス

高級時計=スイス。しかしその製造拠点は国土の西側であるフランス語圏に偏っています。これは時計技術がフランス経由でもたらされたから。中心都市はジュネーブで、フランスとの国境に近いジュウ溪谷や、世界遺産の街ラ・ショード・フォンに名だたる時計メーカーが集まっています。



主なスイスの工場

- 1 ラ・ショード・フォン&ル・ロックル
(タグ・ホイヤー、ブライトリングなど)
- 2 ヌーシャテル
(ブルガリ、パネライなど)
- 3 ジュウ溪谷
(オーデマピゲ、ジャガー・ルクルトなど)
- 4 ジュネーブ
(パテック フィリップ、ヴァシュロン・コンスタンタンなど)



① 時計産業が評価され、産業遺産として2009年世界遺産に登録されたラ・ショード・フォンとル・ロックル。20世紀初頭には、全世界の時計の半分はここから世に送り出されていた言われています。

③ 独立時計師を代表するウォッチメーカーの一人であるフィリップ・デュフォー氏もアトリエをかまえるジュウ溪谷。ジュウ湖畔に自生する灌木「ジャンシャン」は時計パーツの最終仕上げなどに利用されます。

●

日本

日本にも、世界的に有名な時計メーカーがいくつもあります。本社は東京近郊にありますが、その生産拠点は長野県と東北地方に集まっているのが特徴です。スイスも日本も、時計産業の中心地は山々に囲まれた自然豊かなエリアにあり、美しい自然の中から美しい時計が生まれています。



主な日本の工場

- ① 岩手・雫石／雫石高級時計工場
(盛岡セイコー工業)
- ② 山形・東根／プレミアムプロダクトライン
(山形カシオ)
- ③ 長野・塩尻／信州 時の匠工房
(セイコーエプソン)
- ④ 長野・飯田／南信州高級時計工場
(シチズン時計マニファクチャリング)



① 日本における機械式時計製造の聖地として知られてきた岩手県雫石。そこに工房を構える盛岡セイコー工業は2020年にグランドセイコー誕生60周年を迎え、「グランドセイコー スタジオ 雫石」を開設しました。



④ 長野県飯田市と佐久市に工場を持つシチズン時計マニファクチャリング。飯田工場の南信州高級時計工場では、シチズンブランドの高級品腕時計のムーブメント組立から側付け・アフターサービスまで手掛けています。












| 時計ブランドってどれだけあるの? |

世界時計ブランド相関図

高級時計ブランドは、とてもたくさんあります。
しかもグループ化しており、さまざまな個性をぶつけ合っているのです。












世界最大級の時計グループ

スウォッチ グループ

 ブレゲ	 ラドー
 ブランパン	 ティソ
 ジャケ・ドロー	 ハミルトン
 グラスヒütte・オリジナル	 スウォッチ
 オメガ	 ハリー・ウィンストン
 ロンジン	など




ラグジュアリーブランド揃い踏み

リシュモン グループ

 A.ランゲ&ゾーネ	 ジャガー・ルクルト
 ヴァシュロン・コンスタンタン	 ボーム&メルシエ
 カルティエ	 IWC
 ピアジェ	 ロジェ・デュブイ
 モンブラン	 ヴァン・クリーフ&アーベル
 パネライ	など

新進気鋭が集まる






フランクミュラー ウォッチランド グループ

 フランク ミュラー
 バックス&ストラウス
 クストス

など

少数精鋭の実力派たち








日本ブランド

 セイコー	 カシオ
 シチズン(アルピナ、フレデリック・コンスタント、アーノルド&サン、プロバなど)	 ミナセ
	 オリエント

など

時計を進化させる

LVMH グループ

 ルイ・ヴィトン	 タグ・ホイヤー
 ウブロ	 フレッド
 ブルガリ	 ショーメ
 ゼニス	など





個性を楽しむなら

独立系ブランド

 ロレックス	 リシャール・ミル
 チューダー	 パルミジャーニ・フルリエ
 バテック フィリップ	 エルメス
 オーデマ ピゲ	 シャネル
 ブライトリング	など

ファッション目線の時計戦略

ケリング グループ

 グッチ	 ユリス・ナルダン
 ジラール・ペルゴ	 ブシュロン

など

※2021年3月現在

ファッション業界では、多くのブランドがラグジュアリー・グループを作っています。時計業界でも同様の流れが進行中。その最大勢力が「スウォッチ グループ」であり、ブランドごとに価格帯や商品構成をきっちりとセグメント化することで、幅広い顧客を獲得しています。その対抗馬となるのが、ラグジュアリーな時計・宝飾ブランドばかりを傘下に収める「リシュモン グループ」。ブランドたちはそれぞれがライバル関係にあり、互いに切磋琢磨することでハイレベルな時計を作っているのです。

最近急激に存在感を増しているのが「LVMH グループ」。

母体がルイ・ヴィトンを筆頭とするファッション系のグループゆえに、時計業界の前例に縛られず、画期的な新機構や新素材を積極的に採用しています。

日本にも有名ブランドはありますが、とくにユニークなのが「シチズン」。スイスの時計ブランドやムーブメント会社を傘下に収めており、「日本×スイス」という、新たな視点の時計作りを進行中です。もちろんグループに属さないことで独自性の高い時計を作る「独立系」ブランドも健在。目の肥えた時計愛好家に支持されています。

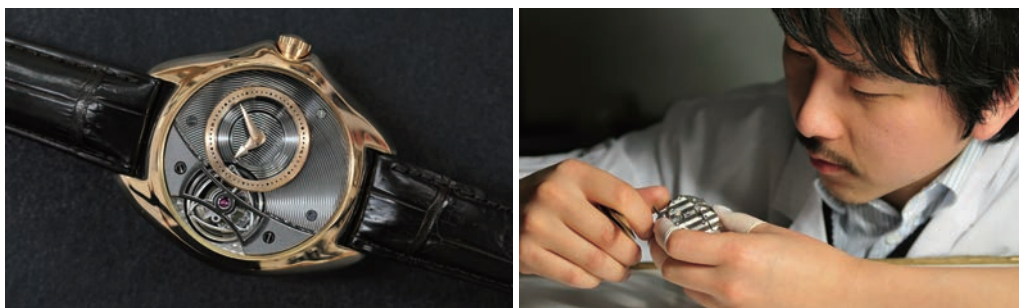
| 時計の世界はこんなに深い |

人に教えたくなる時計ウンチク6

時間を知るための道具という枠を超え、自由に進化する時計の世界。
その最新事情をレポート。時計の世界はこんなに楽しいのです。

1 世界が認めた 天才時計師 「菊野昌宏」

企業に属さない凄腕の職人“独立時計師”。彼らは「独立時計師アカデミー(AHCI)」を立ち上げ、展示会などを行います。菊野昌宏さんもその一員。日本人時計師として初めてアカデミーの正会員(2013年)になった彼は、本校の卒業生でもあります。菊野さんの作品の特徴は、デザインや機構に“和の趣き”を取り入れていること。唯一無二の世界観を持つ時計は、世界の愛好家から一目置かれています。



菊野さんが2012年に発表した「トゥールビヨン 2012」。微細なパーツまで手作業で仕上げた、工芸品のような時計です。ムーブメントには“杉綾仕上げ”という独自の仕上げを採用。



[裏面]

[表面]

表面と裏面に表示を配置する超複雑時計。それだけでも価値がありますが、しかも世界に1本。だからこそ、驚くべき価格になったのです。

2 世界で最も高価な腕時計は？

腕に乗るほど小さなサイズでありながら、家や車、クルーザーを超えるほど高価な時計があります。このパテック フィリップ「グランドマスター・チャイム」は、なんと約34億円！これはチャリティーオークション「オンリーウォッチ」にて落札されたものであり、世界に1本しかない希少品。しかもスポーティなステンレススチールケースを使用。その意外性が、高額落札に繋がりました。

3 時計史上、最も複雑な時計は？

ヴァシュロン・コンスタンタン「リファレンス57260」が、世界で最も複雑な時計。直径98mmのケース内にはなんと2800以上のパーツが組み込まれ、小さなゼンマイの力を効率的に使いながら、57の複雑機構が寸分の誤差もなく動いている。もはや、存在自体が奇跡のような時計です。

ヴァシュロン・コンスタンタン「リファレンス57260」の針の数は、全部で31本！時刻表示機能だけでも、6種も組み込まれています。



@nihonmura

4 日本で最も古い時計はどこにある？

時計の原点は紀元前3000年の古代エジプトで生まれた「日時計」。しかし日時計は天候に左右されてしまうし、夜は使えない。そこで生まれたのが、水の流れて時を知る「水時計(漏刻)」でした。この技術が日本に伝えられたのは7世紀ごろ。最も古い水時計は、天智天皇の命を受けて滋賀県の近江神宮に作られたもので、天智十年(671年)4月25日に完成。この完成日を現代の暦に当てはめた6月10日が、「時の記念日」に制定されています。



現在の近江神宮にある水時計は再建されたもの。水槽は4段構成になっており、上から順々に水が流れてくる仕組み。最後の水槽に水が入ると、目印の矢が少しずつ浮き上がり、時間の経過を示します。



ケース横のスライダを操作すると、ミニッツリピーター機能が作動。小さなパーツが誤差なく正確に動き、音で時を告げる。

5 楽器のように音を奏でる時計がある？

昔は夜は暗くて時計の針が読めませんでした。そこで考案されたのが「ミニッツリピーター」。これは時計内部の小さなハンマーでゴングを叩いて音を奏で、その音の組み合わせと数で時刻を知らせる機構です。オーデマ ピゲ「コード1159 パイ オーデマ ピゲ ミニッツリピーター スーパーソヌリ」はその究極形。ゴングを反響板に取り付けて澄んだ音色を大きく響かせます。理想の音に仕上げるために絶対音感をもつ時計師が調律を行う、もはや楽器と言える時計です。

6 時間が分からないがトレンド？ ビザールウォッチの世界

スマートフォンで正確な時刻がわかる今、時計は時刻を示すという役割を離れて自由に進化中。独創的な発想から生まれた、奇怪(ビザール)な時計が増えています。その代表格がH.モーザーの「スイス アルプ ウォッチ」。どう見てもアップルウォッチですが、美しいパーツで時を刻む高級機械式時計です。またHYTの「H5グリーン」は針ではなく、液体の動きで時刻を示す不思議な時計。優れた技術と美的センスを駆使して、遊び心満点の時計を作るのです。

H. モーザー「スイス アルプ ウォッチZzzz」は、アップルウォッチのスタンバイモードをイメージした黒い文字盤が特徴。



HYT「H5グリーン」は、内部に2つのフィゴを内蔵。機械式ムーブメントが徐々にフィゴに圧力を加えると、透明と緑の液体がガラス管の中を徐々に移動。その境界線が、時計の役目をします。

卒業生インタビュー



GRADUATE'S Voice

ヒコでの学びの先にたどり着いた「ウォッチメーカー」という仕事。
時計に命を吹き込む技術者、第一線で働くプロフェッショナルとして、
さまざまな工房で活躍する卒業生たちに話を聞きました。

（ 時計修理の仕事 ）

「時計修理」とひと言でいっても、企業によって請け負う仕事の内容は異なります。
時計修理をしている企業を大きく5つに分けて、その特徴をご紹介します。

メーカー・代理店

時計ブランドのメーカー、または輸入代理店のアフターサービス担当として、取扱ブランドの時計の修理・メンテナンスを行う。

百貨店担当企業

百貨店の時計修理を担当する企業。受付から行うため、修理だけでなく接客のノウハウも身につけることができる。人気ブランドを中心に扱えるのも大きな魅力。

修理専門企業

取引先から修理を請け負っている企業。さまざまなブランドの時計に触れることができ、修理に専念できる環境なので、短期間で技術力を磨くことができる。

時計販売専門店

時計販売店に併設されている工房で時計修理をする仕事。販売や修理受付まで行うこともあり、幅広い業務に携わることができる。

アンティーク専門企業

古いものでは100年以上も前に製造されているアンティークウォッチ。替えのパーツが手に入らない場合などは、技術者みずから製作することもある。

時計修理以外にも、学んだ技術をいかせるフィールドはたくさんあります。

修理受付

お客様が持ち込む修理品の受付から受け渡し、修理手配から電池交換やベルトのコマ話などの簡易修理までを担当。お客様にとって“会社の顔”となるため、企業側も重要視している部門。

ショップスタッフ

時計販売員向けの「ウォッチコーディネーター資格検定」が登場するなど、専門知識のあるショップスタッフのニーズは年々高まっている。経験を積み、店舗マネージメントやバイヤー業務に携われる可能性も。

ポリッシャー

ケースやブレスレットを研磨し、新品同様に仕上げる専門職。さまざまな形状や仕上げ方法があるため、高度なテクニックが必要とされ、近年その専門性ゆえに企業からのニーズが高まっている重要な仕事。



日本ロレックス

平井 多枝子さん / 宇野 弘康さん
(2000年卒) (2006年卒)



日本ロレックス株式会社

腕時計におけるバイオニアであるロレックスは、1910年に腕時計では初のクロノメーター公式証明書を獲得。1926年にはオイスター(世界初の防水腕時計)、1931年にはパーペチュアルローター(自動巻き機構)など数多くの革新的技術を開発している。

クオリティを守る者としての責任と誇り

オーバーホールにおける内装工程のチーム責任者として活躍している、平井さんは「クオリティに自信を持って、ユーザーにお戻りできるように、常に緊張感を持って作業しています」と話す。

担当しているムーブメント検査では、高い意識のもと、ロレックスの基準を満たしているか、厳しく品質を管理している。20年以上のキャリアの中でステップアップしながら技術を磨き、幾多の時計と向き合ってきた経験が、平井さんの中に蓄積されている。それを次世代の技術者へ伝承していくのも重要な仕事だ。12人の部下、ひとり一人の成長が励みになっているという。「日々、さまざまな学びがある。それがこの仕事の魅力だと思います」

「100分の1ミリを調整する」魅力にひかれて

ひとりの技術者によって内装オーバーホールが遂行されるグループに所属する、宇野さんは「2世代以上前の機種の上オーバーホールを担当しているので、慎重かつ丁寧な作業を心がけています」と話す。時には受付からの情報に「形見の品」という言葉を目にしてハッとすることも。「長く大事に使っていただいていることへの感謝と、この先もこの時計を存続させなければという使命を感じます」

時計技術に興味を抱いたきっかけは、雑誌の記事で目にした「100分の1ミリを調整する」という言葉だった。周囲の反対を押し切って、時計の世界に飛び込んだが、その選択は正しかったと今も確信している。「毎日、同じ作業に見えても、1つとして同じ症状の時計はない。だから毎日、成長している実感があります」技術を究める道のりはまだまだ長い。

お客様の「こだわり」を身近に
感じることができるようごび



リシュモン ジャパン 稲毛 慶太 さん（2009年卒）

稲毛さんは入社して3年間カルティエのメンテナンスに携わり、現在はIWCのチームに所属している。チームメンバー9名中5名がヒコの卒業生で、他のブランドのチームにも卒業生が大勢在籍しているそう。

「カルティエは外装の美しさを求めるユーザーが多いですが、IWCではこだわりを持つ男性ユーザーが多く、『この傷は磨かずに残しておいてほしい』『リュースのマークはこのままが良いので交換しないでほしい』などの要望を受けることがあります。時計の機能を回復させることを優先すると、すべてのご要望に応えられないこともあります。それに対してどのように対応していくか難

しいこともあります。技術者としてとてもやりがいを感じています。お客様が愛着を持って使っているからこそこのこだわりだと思いますので、期待に応えられるよう日々一生懸命取り組んでいます」

直接お客様と対面する機会はないが、時計の状態からどのように使われていたかを思い巡らすと、お客様をものすごく近く感じることができる。そんなこだわりを持ったユーザーが多いところが、IWCの魅力だと稲毛さんは語る。

「時計修理の仕事は、会社に入って実際に働いてみてからがスタートです。私も今年で勤続12年目になり、学校では学んで

いないような修理もたくさん経験してきました。とまどうこともありましたが、基礎が大事なので、学校で学んだことをきちんと身につけていれば必ず乗り越えられると思います」

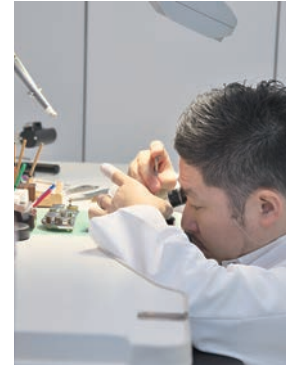
今よりもよりハイレベルなムーブメントを担当できるようになるのが今後の目標という稲毛さん。

「技術者の層が厚く、ベテランの技術者がたくさんいる環境で働けるのがリシュモンのすごさです。目標にできる先輩が身近にいる中で仕事ができるのは恵まれていますね。いつか自分も社内で一目置かれるような存在になれるよう頑張りたいです」

リシュモン ジャパン株式会社

1988年スイスにて設立したリシュモングループの100%出資会社。カルティエ、IWC、オフィチーネ パネライ、ジャガー・ルクルト、A.ランゲ&ゾーネ、ヴァシュロン・コンスタンタンなどのウォッチ分野と、ジュエリー、レザー、ファッション、ステーショナリーの各分野において、世界的に認められた多くのラグジュアリーブランドを擁する。





スウォッチ グループ ジャパン

宮城 静香さん / 高橋 賢二さん
(2005年卒) (2003年卒)



スウォッチ グループジャパン株式会社

スイス・ビール市に本拠地を持つ世界最大の時計製造グループであるTHE SWATCH GROUP LTDの100%子会社として、時計・宝飾ブランド等を取り扱う。スイス時計の最高峰に位置するブレゲ、機械式時計のバイオニアであるブランパン、スイスの高級時計の代名詞オメガなど数々のブランドを擁する。



完璧な知識を身につけるため、 奮闘の日々

お客様が持ち込む時計の“症状”を10～15分で診断し、修理の可否と修理期間、費用などを判断するのが宮城さんの仕事。仕事場は、受付カウンター脇のガラス張りのブースの中だ。「お客様の反応が間近に見えるので、かなり緊張感がありますね。お客様それぞれに使い続けたい理由があると思うので、一人ひとりのニーズに応えたい。その時計との最初の接点が見積りであり、その後の作業は自分の見積り内容で進んでいくので、重要な仕事だと思います」。見積りの仕事に必要なのは、圧倒的な知識。だから目標は「知識を完璧にすること」だという。「先輩たちの頭の中にある知識を、全部自分の中にインプットしたい」。日々貪欲に、スキルアップを目指す。

挑戦できる仕事にこそ、 楽しさがある

ラグジュアリーワークショップに所属し、ブランパン、ブレゲなどグループ最高級ブランドの修理を担当する高橋さん。トレーニングを重ね、一步一步キャリアアップをしてきた。心がけているのは「情熱を失わないこと」だという。修理が単なる“作業”にならないように、常に意識を高く保ち、集中して取り組む。「扱う時計一つひとつがお客様の大切な財産だという気持ちを忘れないようにしています」

この仕事の魅力は、「自分の手で、動かなかったものを動かせること」と高橋さん。困難な課題ほど、クリアすれば次への意欲になる。「もっと上を目指すために、積極的にアピールしてチャンスをつかみたい」。修理の仕事は、終わりのない挑戦だ。



目の前の“1本”に向き合うおもしろさ

修理会社に7年勤めた後、「1つのブランドのプロフェッショナルになりたい」とAP（オーデマピゲ）に転職した。「次の職場はAPしかない」と思っていたという。技術専門職としてずっと働けること、自社ムーブメントがあり、スイス本国での研修制度が整っていることなどがその理由だ。既にスイス研修には4回行った。通訳なしの英語での研修。決して「ご褒美」

ではない厳しい研修だが、参加者一人ひとりの能力に合わせたプログラムが組まれているというきめ細かさからも、技術者を大切にする社風がうかがえる。

APに移って12年、経験を積めば積むほど「初めて出会う不具合」は減ってきた。だから経験を重ねた今、初めて出会う不具合は必然と難しい修理が多くなる。想像力を駆使して不具合の原因を推測し、

昔の資料をめくって仮定を立て、仲間に相談しながらトライ&エラーを繰り返す。原因が解明できたときは、仲間たちと喜びを分かち合う。

「APに入って、改めて時計って難しいなと思った」という大沢さん。だからこそ、気を抜かずに真摯に目の前の“1本”に向き合う。彼女の目指すゴールはまだ先にある。

オーデマ ピゲ ジャパン

大沢 利恵さん（2002年卒）



オーデマ ピゲ ジャパン株式会社

世界最高峰の高級時計メーカーの一つに数えられている名門マニュファクチュール。機械式時計の分野でたくさんの世界初という記録を作り、常にデザイン、素材、技術のイノベーションを追究している。

ブライトリング・ジャパン

三木 正弓さん（2013年卒）



ブライトリング・ジャパン株式会社

1884年創業のスイスの時計メーカー。コックピットクロックや、クロノグラフなど、パイロットのための時計を1世紀以上にわたって開発し続けてきた。日本には各地の正規販売店のほか、東京と大阪にメンテナンス拠点「スタジオ・ブライトリング」を持つ。

社会人からヒコへ入学した三木さん。卒業した現在はスタジオ・ブライトリング大阪に勤めている。「印象深いのは2018年12月に受けたムーブメントのトレーニング。思えばブライトリングとの出会いは、社会人になって購入した一本の時計でした。『モンブリラン』という時計で、搭載されているムーブメントは独特なもの。学生時代も就職してから自分で触るこ

とはできませんでした」。しかしそのトレーニングを経て、ついに「モンブリラン」を手掛けられるようになったのだ。「私の未来を変えた宝物の時計を、18年経てようやく自分で修理できるようになったのは感慨深いです」。

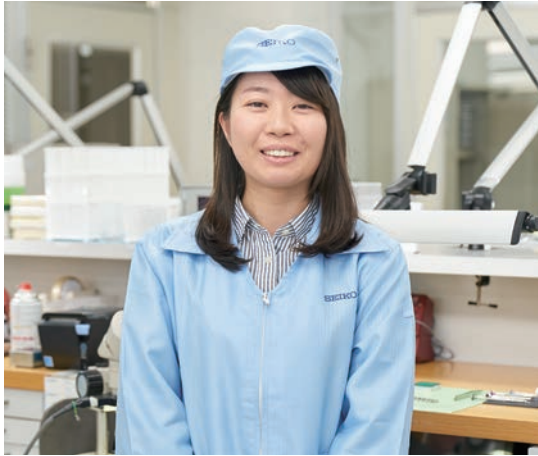
「夢がかなって幸せ」「オーバーホールを担当したお客様の時計が元気になるのがうれしい」と三木さんは仕事にたくさ

んの喜びを見出している。それもヒコでしっかり学んだ技術の基礎があるから。「今思えば、学生時代にもっと失敗をしておいてもよかった。失敗から学ぶことはとても多いですから。学んだことは社会に出たときに必ず役に立ちます」

今後も技術を磨き続け、ブライトリングの技術者として、ひたむきに一つひとつの時計と向き合っていく。



夢のきっかけとなった時計を自ら修理



セイコータイムラボ

高谷 愛実さん（2012年卒）



セイコータイムラボ株式会社

日本を代表する時計メーカーの「SEIKO」を中心とした腕時計の修理・メンテナンスを行う。伝統の中で培われた卓越した技術力と最新設備を駆使し、的確・迅速・高品質な修理サービスを提供している。

時計のストーリーを感じ、丁寧な仕事を

高谷さんの働くセイコータイムラボは、一人が一本の時計を最初から最後まで仕上げる「1個修理」のスタイル。「1つの時計にじっくり向き合って不具合を見つけ、解決していく過程がとても楽しい」という。不具合がなかなか発見できないときは、お客様の日常の使用場面を想像しながら、温度を変えたり巻き上げの仕方を変えたりと、試行錯誤を行う。それでもわか

らないときは、「この道何十年というベテランの先輩たち」にアドバイスを仰ぐ。引き出しの多さがものを言う時計修理の世界では、どれだけたくさんの事例を見てきたかが大事なのだ。「男女の差がなく技術を発揮できる仕事がしたくて」この世界に入ったという高谷さんだが、知るほどに時計の魅力にも惹かれていった。「時計を買って、何かの記念だったり、贈り物だっ

たり、とても大事なシーンだと思うんです。だからこそ、そんな重みを持った時計に対して、常に誠実で丁寧な仕事をしていきたいです」

今後の目標は「グランドセイコー」の高級メカキャリバーなどの経験を生かして、社内の「マイスター」資格にチャレンジしていきたいという。「1つでも多くの時計を修理して、経験値を上げていきたいですね」

共栄産業

小泉 雄嗣さん（2009年卒）



共栄産業株式会社

1973年設立。東京・巣鴨に本社を構える時計修理専門企業。ロレックスなどの高級ブランドをはじめ、さまざまな時計の修理やオーバーホール、電池や時計関連商品の卸などを手掛けている。



『想い』に触れるやりがいのある仕事

「共栄産業は修理専門会社。メーカーと違い、いろいろなブランドの時計の修理に携われるところが魅力ですね」と語る小泉さんは入社13年目の中堅ウォッチメーカーだ。

機械式時計、複雑時計、アンティークなど、さまざまな時計の修理を1日に3～4本こなすという小泉さんが、一番やりがいを感じる修理は、伝票に「なんとか

直してください」「思い出の時計なので……」といったお客様からのコメントが書かれていたとき。「そんな時計を受け取ったときは『よし！ やってやる！』って気合が入るんです。私たちが扱う時計の価値は、決して値段だけではなく、お客様の想いがどれだけ詰まっているかということだと思います。裏蓋に『～記念』や『○○to○○』など彫ってあった

りする。まさに思い出そのものじゃないですか。無事に修理が完了してお戻しする際は『これからも頑張ってくださいよ』と心の中で声をかけています（笑）」

一生勉強できる時計の世界。いくつになっても自分次第でやれる仕事が増えていく、とてもやりがいのある仕事だと語る小泉さん。今日もお客さまの想いを受け、仕事に取り組む。

GRADUATES
6/7
Voice



シチズンリテイルプランニング

田畑 祐輝 さん (2020 年卒)

お客様が喜ぶ瞬間に立ち会える仕事

シチズンウォッチグループの時計を扱う「CITIZEN FLAGSHIP STORE OSAKA」。2020年10月にオープンした、関西初の旗艦店に勤める田畑さん。卒業後は留学を予定していたが、新型コロナウイルスの影響で足止めされていたところ縁あって入社。主な仕事である修理受付の魅力を聞いてみると「お客様の反応がダイレクトに感じられるところ」という。「止まってしまった大切な時計が再び時を刻み始め、それを手に取ったお客様が喜ばれる姿を見ると、こちらもうれしくなります」。「将来は時計修理技能士1級まで取得し、お客様の信頼を得られる人材になれるよう頑張りたい」と語った。



シチズンリテイル プランニング株式会社

全国で約80店舗を展開するシチズン時計グループの腕時計小売専門企業。国内2店舗目のシチズンウォッチグループ旗艦店「CITIZEN FLAGSHIP STORE OSAKA」では、グループ主要ブランドを西日本最大級のコレクションで展開。

行動することでつかんだ夢

中学生の頃に見た、時計師を特集したテレビ番組が印象的で、社会人からヒコへ進学しなおした松元さん。念願かなって就職したエムヴィでは、「1年目からさまざまなことを任されて、仕事がとても楽しい」という。学生時代とは違い“お客様の時計を扱っている”という重責を感じつつも「できることが増えていくのがうれしい」と松元さん。ヒコへの入学前は、年齢と就職への不安が大きかった。しかし「社会人経験も重宝されハンディはありませんでした。『やってみよう!』と思ったときこそが行動するタイミング。あのときの選択は間違っていないでした」と語った。



エムヴィ

松元 伊杏 さん (2018 年卒)

株式会社エムヴィ

1982年設立。大阪心斎橋近くに本社、御茶ノ水に東京オフィスを構える。時計・ジュエリー修理を30年以上手掛け、希少でユニークな腕時計の販売も展開。



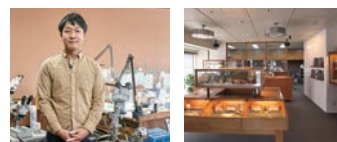
ケアーズ

渡部 洸士 さん (2016 年卒)

歴史からの「借り物」を次の世代へと送る仕事

主に70年代以前に作られた機械式時計のオーバーホールが渡部さんの仕事だ。「磨き込まれた部品一つにも、昔の見知らぬ職人さんの上質な手仕事が見えるようで、うれしくなってしまう」。扱う時計の美しさも、アンティーク好きの渡部さんを魅了する。「自分の何倍も年を取っている時計のデザインが、逆に新しく見える」のだという。

『古くて良いものは、歴史からの借り物だ』という言葉がある」と渡部さん。自身も、手掛ける時計を次の世代に送りたいという思いで仕事をしている。時計に命を吹き込む渡部さんの仕事が、貴重なアンティーク時計の歴史をつないでいく。

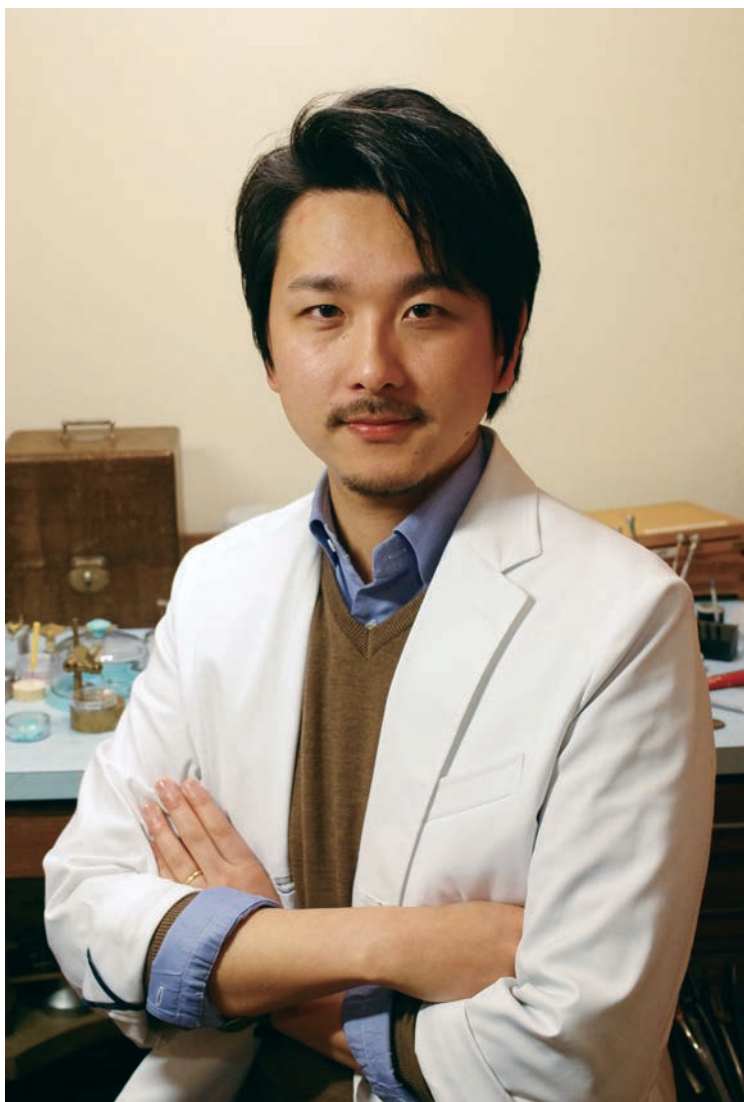


株式会社ケアーズ

日本でも数少ないアンティーク時計を専門に取り扱うショップ。表参道ヒルズ店、森下本店(東京都江東区)と、東京ミッドタウン店の3店舗を展開。

GRADUATES
8/9/10
Voice





独立時計師。それが僕の歩む道



Profile

ヒコ・みづのジュエリーカレッジにて3年間の専門課程を学ぶ。卒業後、研究生として1年間学校に残り、時計製作に没頭。その集大成である「不定時法腕時計(和時計)」が独立時計師フィリップ・デュフォー氏に認められ、日本人として初めて、2013年に国際的な独立時計師団体、AHCI(独立時計師アカデミー)の正会員となった。

独立時計師

菊野 昌宏 さん (2008年卒)

「独立時計師」として認められた初の日本人である菊野さん。実はヒコに入学する前は陸上自衛隊に4年間勤務したというユニークな経歴を持っている。「高校卒業後、特にやりたいことがなくて自衛隊に入隊したのですが、そこで上司が何気なく見せてくれた機械式時計に衝撃をうけたのが時計に興味を持ったきっかけです。『これだけ技術が進歩している時代に、ゼンマイ式で動く時計ってすごい!』と、興味がわいて」。時計のことを知れば知るほど勉強したいという想いが強くなっていった。小さな宇宙にすっかり魅了された菊野さんは、ヒコへ

の進学を決意。そして在学中に製作した永久カレンダー・トゥールビヨンなどが、世界的な独立時計師フィリップ・デュフォー氏の目にとまり、見事パーゼルワールドへのデビューを果たしたのである。

「独立時計師として出展するのは日本人として初めてということもあり、最初は緊張しましたね。英語も上手じゃないし(笑)。でも、僕の出展した和時計にたくさんの方が興味をもってくださり、他の独立時計師の方々も、僕を仲間として迎え入れてくれて、うれしかったです」

精力的に作品製作に取り組む菊野さんだが、ひとつの作品を完成させるのに

膨大な手間と時間がかかるので、年間で作ることのできる時計は、わずか2、3点が限度だという。

さまざまなモノが安く、簡単に手に入るこの時代だからこそ、敢えて時間をかけて、人の手でつくることを大事にしたいと菊野さんは語る。「機械式時計の本質的な製作手法を、自分が継承していきたいという想いもありますね。昔の時計を見ると『どうやってつくったんだろう』と驚かされることも数多くある。そんなすごい技術を学び、吸収して、自分の時計づくりに反映させていけたらうれしいですね」

GRADUATES

11

Voice

「業界認定校」としての

ヒコの実力

本校は輸入時計の団体である(一社)日本時計輸入協会から技術者養成依頼を受け、1997年に協会の認定校として開講いたしました。1998年からは協会の会員企業の技術者の技術力向上教育も本校が担当し、以降、毎年開催されています。

コースは今年で25年目。時計業界へ1,000人以上の卒業生を送り出してきました。そして過去10年の平均就職率は約97%。このような高い数字が毎年実現できているのも、時計業界との太いパイプがあるからです。

認可専門学校

本校は学校教育法認可の専門学校。校舎設備からカリキュラムまで厳しい認可基準をクリアしています。学割・公的奨学金の利用はもちろん、学校からの就職斡旋も受けられ、卒業時には“専門士”の称号が付与されます。

職業実践専門課程の認定校

企業等との密接な連携により、実践的な職業教育の質の確保に組織的に取り組む専門学校が文部科学大臣より認定される「職業実践専門課程」。その認定校である本校では最新の実務の知識・技術を身につけることが可能です。

業界認定校

一般社団法人 日本時計輸入協会(時計輸入商社の全国団体)からの、ウォッチメーカー育成依頼により開設された業界認定校です。教材提供や本校への優先的求人促進など、全面的に協力していただいています。

学校特長

業界人教育の指定校

時計に関わる仕事をしている方を対象とした(一社)日本時計輸入協会主催の「機械式時計技術講習会」が定期的に学内で開催されています。プロを指導する場として本校が選ばれているのは、まさしく教育設備、講師レベルの高さを示すものです。

資格受験の認定校

厚生労働省管轄の国家資格「時計修理技能士検定」は、通常実務経験がないと受験資格を得ることができませんが、本校の学生は実務経験が免除され、1年次に3級の受験、合格後2級の資格取得にチャレンジできます。

少人数制の授業

学生12名に対し講師1名の割合で時計技術トレーニングを実施。この比率は時計の本場、スイスの教育スタイルをモデルケースにしています。一人ひとりをしっかりサポートし、質の高い授業を行うのに最適な環境です。

業界とのつながり

「業界認定校」であるヒコでは、アジアを代表する時計学校として、人材育成だけでなく、時計業界全体の発展のためのさまざまな取り組みを行っています。

時計と時に関する正しい知識を提供する 「ウォッチコーディネーター資格検定」

ウォッチコーディネーター資格検定制度とは、一般社団法人 日本時計輸入協会が主催する認定制度。時計購入時およびアフターサービス受付時に消費者から求められる情報に対して、専門的かつ的確に分かりやすい説明ができる、優れた販売員を育成することを目的として創設されました。受験者も年々増加している、今注目の資格検定です。

筆記試験合格者に実施される実技実習はヒコの講師が担当。本校校舎を会場に使用し、毎回数百名の資格取得者の方に向けて、機械式時計の分解・組立、歩度調整の仕方などをレクチャーしています。また使用するテキストの執筆も本校講師が担当するなど、資格立ち上げ当初から全面協力体制でバックアップを行っています。



香港ウォッチ&クロックデザインコンペティション デザイナーワークショップ



このワークショップは香港で開催されるウォッチ&クロックデザインコンペティションの副賞に当たるもので、コンテストの受賞者が日本でデザイン研修を受けられるというもの。コンテスト主催者の香港貿易発展局の方より、「入賞したらこのワークショップに参加できるという情報が伝わり、コンテスト応募者へのモチベーションUPになっています」とのコメントをいただきました。

機械式時計技術者講習



時計業界従事者で、修理経験の無い方などを対象に、本校教員が講師を務めるセミナーを毎年開催。時計文化の継承・発展に寄与する、大変有意義な講習会といえます。

業界からのメッセージ

一般社団法人 日本時計輸入協会 理事長
株式会社ホック 取締役社長

堀田 峰明 様

時計業界に、なくてはならない存在です。

70年代以降のクォーツショックを経て90年代から機械式時計が再度注目を集め始めた頃に私共が直面したのは、機械式ムーブメントの扱いに長けた技術者の高齢化と絶対数の不足でした。

当協会からの、時計技術者を育てる場を作っていただきたいという要望に応じていただき、これまで業界の縁の下の力持ちたる優秀なウォッチ

メーカーを数多く輩出していただいただけでなく、当協会が運営しておりますCWCウォッチコーディネーター資格検定制度の実技実習や機械式時計技術講習会等にも多大なるサポートをいただいております。今後もヒコ・みづのジュエリーカレッジと業界が協力し合い、優秀な人財の輩出が継続ことに期待しております。



Course & Curriculum

コース紹介・カリキュラム（東京校・大阪校）

学ばれる方の目的に応じた2つのコースを設置。
開講以来蓄積してきた時計教育のノウハウを生かし、人材を育成します。

◆ コース紹介

Course

● 全日制専門課程 [昼間・週 5日]

大阪校	2年制	ウォッチメーカーコース	▶ 短期間でプロを目指す方におすすめ。 即戦力として就職するための知識・技術を修得します。
東京校	3年制	ウォッチメーカーマスターコース	▶ 2年制のカリキュラムに加え、業界から最も要望の強い「クロノグラフ」機構を3年次に学びます。

◆ カリキュラム

Curriculum

ウォッチメーカーコースで学ぶのはこの3つのカリキュラム。
いずれもウォッチメーカーを目指すうえで必要不可欠な知識と技術です。

時計技術

「修理」のすべてを体得する

カリキュラムで最も大きな比率を占めているのが「時計技術」。分解、組立、注油、摩耗した部品の交換など、オーバーホール技術を学びます。授業で扱うムーブメントは手巻き・自動巻き、クォーツ、クロノグラフまで幅広く、修学が進むにつれ、その難易度を上げていきます。機械式時計のオーバーホールにおいて、言葉では伝わりにくい「力加減」などは、根気強い指導の繰り返しが不可欠。確かな知識と経験を持ったベテラン講師が親密な指導を行い、職人としての「勘」を養っていきます。



金属加工

時計師の「手」を作り出す

「金属加工」のカリキュラムでは、針抜きなどの時計工具や、クラスプ（バックルの留め金）といった時計パーツの製作まで学びます。時計修理にはさまざまな専用工具が必要になり、サイズや素材など、同じ工具であっても使う場所によって使い分けなければなりません。ドライバーなどの工具も部品を痛めないよう加工が必要になるのです。金属加工はいわば「時計師の手」を作り出す大事な技術。修得必須の重要なカリキュラムです。



外装知識

ムーブメント以外はすべて「外装」

時計を購入するとき顧客の目に映るのは「外装」です。「外装知識」のカリキュラムでは、文字盤や針の種類、ケースの形状、素材などの基礎知識から、ガラスや風防はどうやってはめ込まれているのか?といった各種多様な構造の研究まで踏み込んだ授業を行います。また、時計マーケットについてや、ブランドについても学びます。諸外国の時計学校で、このような授業を専門的に学ぶ場は皆無。世界で唯一、ヒコ・みづので学べるカリキュラムです。



※カリキュラム内容・授業曜日等は、東京校と大阪校、それぞれ年度によって異なります。

		時計技術	金属加工	外装知識
大阪校 ウオッチメーカーコース	東京校 ウオッチメーカーマスターコース	1年次 <ul style="list-style-type: none"> ● 時計旋盤実習(針押し) ● 機械式時計 分解・組立・洗浄・注油作業 ● 機械式時計 調整実習(歯車振れ取り) ● 機械式時計 調整実習(アガキ調整) ● クォーツ式時計 分解・組立・洗浄・注油作業 	<ul style="list-style-type: none"> ● 金属加工基礎実習 (ヤスリがけ、糸ノコ、ロウ付け) ● 時計工具製作 (針抜き、ドライバー、テンプレ置き台) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 外装知識 (文字盤デザインと図面) ● マーケット知識 (腕時計の分類・ブランド研究)
	2年次 <ul style="list-style-type: none"> ● 機械式時計 分解・組立・洗浄・注油作業 ● 機械式時計 調整実習 (脱進機調整、調速機調整) ● 機械修復実習(天真交換) ● 時計旋盤実習(ETA6497-1巻真製作) ● 時計理論(機械式・クォーツ式時計概論) ● 外装研磨(ケース、裏ブタ、バンド) ● 時計工具製作(ヒゲ玉抜き、キリ) 	<ul style="list-style-type: none"> ● シルバークラスプ製作 		
	3年次 <ul style="list-style-type: none"> ● クロノグラフ実習(機械式、クォーツ式) ● 時計旋盤実習(時計部品製作) ● 時計修復実習(ヒゲ合わせ) ● 部品装飾実習(コート・ド・ジュネーブ、ベルラージュ、ブラック・ポリッシュ、面取り、青焼き) ● 精密調整 ● 時計工具製作(クロノグラフ用工具) 			

▶ 授業日	(例)	DAY 1	DAY 2	DAY 3	DAY 4	DAY 5
月曜から土曜日のうち週5日間	9:30 - 11:00	●	●	●	●	-
	11:10 - 12:40	●	●	●	●	-
	13:40 - 15:10	●	●	●	-	●
	15:20 - 16:50	●	●	●	-	●

※ 通学曜日は入学式当日にお知らせします。

※ 授業内容によってオンラインで実施するカリキュラムもあります。



LINE官方帳號

@nihonmura

大阪校 ウォッチメーカーコース / 東京校 ウォッチメーカーマスターコース

1年次カリキュラム

時計の基礎を学ぶ1年次。使用する工具の把握から始まり、スイス製手巻き・自動巻き機械式時計、クォーツ時計の仕組みやメンテナンスのノウハウを一から学んでいきます。

時計技術

1

手巻き・自動巻き 機械式時計の オーバーホール



直径 36.6mmの手巻き時計で基礎を修得後、錘（おもり）が回転することでゼンマイを巻き上げる自動巻き機械式時計を学びます。使用するのは 25.6mmの自動巻きムーブメント。サイズが小さい分、部品も小さくなり作業にも緻密さが求められます。

2

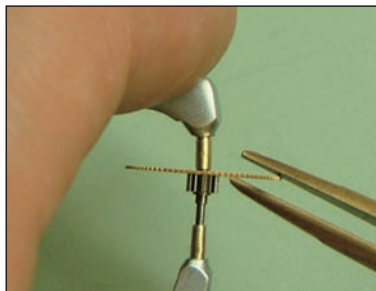
クォーツ式時計の オーバーホール



修理技術の入門としてクォーツ式時計のオーバーホールを行います。機械式時計に比べると部品点数は少ないですが、電子部品を含む繊細な部品を扱うことは、その後の高度な技術を修得するうえで欠かせない基礎となります。

3

時計部品調整



ムーブメントをオーバーホールするだけでなく、各部品の調整を行います。歯車の歪み修正、アソビの調整、ヒゲゼンマイの調整など、時計の精度を向上させるための調整の方法を学びます。

金属加工

1

針抜き・
ドライバー・
押さえ棒製作

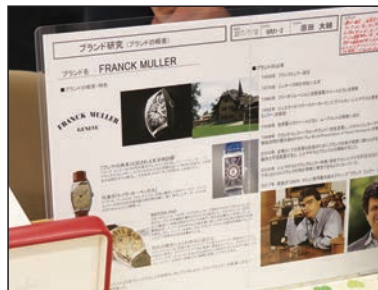


時計技術に必要な基礎工具を製作します。自身で作った工具は手になじみ一生使うことができます。製作のなかで金属の加工技法を学びます。

外装知識・デザイン

1

ブランド研究



ユーザーの観点から時計市場をリサーチし、ブランドの戦略やデザインの流行と消費者の動向の関係性など、技術以外にも幅広く知識を身につけます。

1
年
次
教
材
ム
ー
ブ
メ
ン
ト
(
予
定
)

ETA6497-1



懐中時計サイズの手巻きムーブメント。トレーニングの入門機として世界で使用されている。直径36.6mmサイズと大きく、扱いやすい機械。

ETA2824-2



メンズ用の自動巻きムーブメント。サイズが25.6mmと小さく、より細かな分解掃除の技術と、繊細な取扱いが必要。

ETA955.112



クォーツ式特有の32,768Hzで振動する水晶振動子を用いて高精度を実現。複雑な機構を使わず、シンプルなメカニズムを採用している。



@nihonmura

大阪校 ウォッチメーカーコース / 東京校 ウォッチメーカーマスターコース

2年次カリキュラム

扱う教材ムーブメントがスイス製を中心に小型、薄型、国産ものなどバリエーションも豊富になる2年次。1年次で身につけた技術の応用を学び、さらに高度で実践的なテクニックの修得を目指します。

時計技術

1

女性用 自動巻き腕時計の オーバーホール



直径17.2mmとコンパクトサイズな女性用腕時計や、1年次教材よりもさらに小さい自動巻きムーブメント、そしてシチズン社などの国産メーカーのムーブメントを使用し時計技術を学びます。より小さく薄い時計を扱うにつれ、修得する技術の難易度も上がっていきます。

2

修復技術 (天真交換)



天真は長さが約3.5mm、一番細い部分が約0.1mmの極小部品で、テンプという時計の心臓部の軸になります。その天真を交換する一連の作業では、天真と天輪を圧着させる「カシメ」や、圧着後の歪みを修正する「天輪の振れ取り」など、細かく重要な作業を行っています。

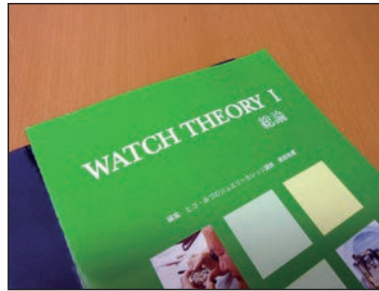
3

時計旋盤技術 巻真製作



時計旋盤は素材となる金属を回転させて刃物で切削し、時計の部品や工具等を製作する特殊な機械です。工具製作からスタートし、旋盤の基本的な操作方法を修得。最終的にはりゅうずとムーブメントをつなぐ時計部品(巻真)を交差 $\pm 3/100\text{mm}$ の精度で製作します。

4 時計理論講義



機械式時計、クォーツ時計の各機構の詳細な仕組みを学ぶ時計理論。国内大手企業にて使用された教育用教材等を本校独自に監修したオリジナルテキストは、日本の時計理論の集大成と言っても過言ではありません。

金属加工

1 シルバー クラスプ製作



革ベルト用の留め具であるクラスプ。留める部分の仕組みやデザインを学生みずから考え、学んだ金属加工の技術を用いて世界でひとつのオリジナルクラスプを製作します。

2 年次教材ムーブメント(予定)

ETA2892A2



ETA2824-2に比べ、より薄いムーブメント。高精度で名門ブランドがクロノメーター仕様にして使用するほど、信頼性は高い。

SEIKO 7N43C



世界で初めてクォーツ式時計を販売したセイコー社のクォーツ式ムーブメント。デイト機構を搭載。

CITIZEN 8200



40年以上生産が続いていて、完成度が高く、世界に供給されている汎用自動巻きムーブメント。シンプルな構造と耐久性を誇る。

他の教材時計(予定)：ETA2671(自動巻き)

東京校 ウォッチメーカーマスターコース

3年次カリキュラム

クロノグラフをメインに学ぶ3年次。授業は時計技術のカリキュラムがメインとなります。
3年間の学びの集大成であるマスター認定試験にも挑戦し、時計業界へ巣立つ準備を整えます。

時計技術

1

クロノグラフ
技術

マスターコースで集中して学ぶ「クロノグラフ」は、通常の時計機能の他にストップウォッチ機構がついた複雑時計のこと。構造が複雑になるため、自動巻き機械式時計の倍以上の部品点数となり、この時計をオーバーホールするには、緻密な調整と技術が必要になります。

2

機械式時計精密調整
ヒゲ合わせ

時計の精度を決める重要な部品が「ヒゲゼンマイ」です。この部品の長さを決め、整形し、時間が正確に合うように調整します。作業は時計のオーバーホールよりも繊細で、厚さ0.05mm程の金属製のヒゲゼンマイをピンセットで自由に操る必要があります。

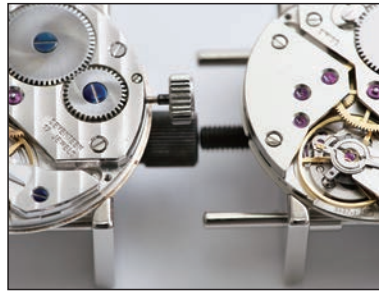
3

時計リペア実習



アンティーク時計の修理を体験。新品の教材とは違う、実際に長年使いこまれた時計のリペアを行うことで実践的なテクニックを養います。この課題の経験をいかして学園祭でリペア時計の販売を行う学生もいます。

4 時計パーツ仕上げ



美しい装飾や仕上げも機械式時計の特長のひとつ。ペルラージュ（円形模様）やコート・ド・ジュネーブ（小波模様）をほどこすなど、さまざまな装飾技法を修得し、美しく仕上げた時計を完成させます。

5 ウォッチメーカーマスター認定試験



ヒコ・みづの独自の検定試験である「ウォッチメーカーマスター認定試験」。審査を外部企業の方々をお願いするなど、そのレベルは国家資格である「時計修理技能士」をものぐとされています。

3年次教材ムーブメント(予定)

ETA7750



オメガやブライトリング、IWC、フランクミュラーなど名だたるブランドに採用されている自動巻きクロノグラフムーブメント。

ETA251.262



機械式時計とは違った繊細さが要求されるクロノグラフウォッチ。診断に必要な測定器の使い方を学びます。

LEMANIA 1873



アポロ計画で使用されたムーンウォッチにも採用。オメガのスピードマスタープロフェッショナルに搭載されている手巻きクロノグラフ。

他の教材時計(予定)：ETA7751(自動巻きクロノグラフ)、その他クロノグラフ

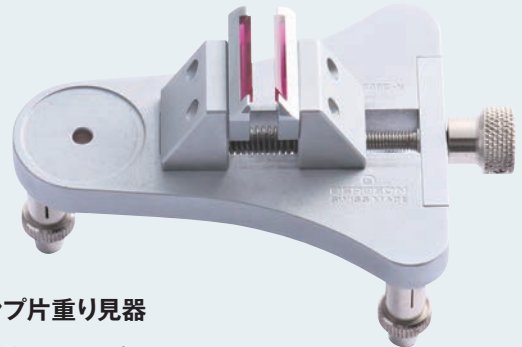
Watchmaker's Equipment

800年の歴史を紡ぎ、現在のカタチとなった腕時計。その世界に携わる時計修理技術者に欠かせない専門工具をご紹介します。



① 時計旋盤

時計工具や部品製作に必要となる時計旋盤。さまざまなアタッチメントを取り付けることにより、穴あけ加工や歯切り加工なども行うことができます。1/100ミリという精度が求められる特異な技術で、ヒコでは炭素鋼の丸棒から金属を削るための手バイト(刃物)など、精密工具の製作からスタートし、巻真(りゅうずの芯になる部分)など時計パーツの製作まで取り組んでいく。修理の際、メーカーに部品ストックがない古い時計の場合などは、旋盤を使い別作するといった機会も多々発生する。



② テンプ片重り見器

時計の心臓部であるテンプ。なかでもテンワにアンバランスがあると精度に影響が出る。その片重りを検査する道具。



③ 振れ見

ひげゼンマイ内端の中心・水平のズレを調べる8の字振れ見(右)や、テンワのゆがみを調べるキャリパス(左)。パーツ同士の調和のとれた動きが必要な機械式時計には欠かせない。

④ オイルカップ、オイル

機械式時計をオーバーホールする際の注油を行うときに使用。注油でもっとも大切なことは、多くも少なくもない適切な量のオイルを注ぐこと。非常に繊細で神経を使う作業工程のひとつ。



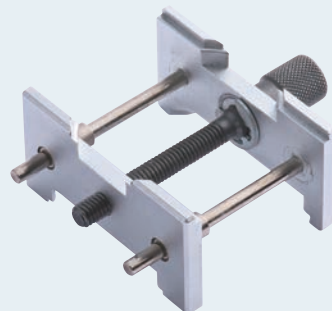


④ キズ見

時計技術者に欠かせない道具がキズ見と呼ばれるルーペ。基本的には4～5倍率のものを使い、修理や精密部品検査等の作業に使用。プラスチック、アルミ、ウッド素材などがある。

⑤ ムーブメントホルダー

ムーブメントの分解・組み立てを行う際に使用するのがムーブメントホルダー。専用サイズの機械台から、右上のように大小のサイズに対応する万能機械台などさまざま。



⑥ 剣抜き

時計の針を取り外す道具が剣抜き。左側のものは弓式と呼ばれ、右側はレバー式と呼ばれる。時計の表情を形作る針の取り外しはデリケートな作業が必要。



⑦ ピンセット

通常の分解・組み立て時に使用されるピンセット。材質によって硬さが異なるので、掴むパーツに合わせて使用する。



⑧ 精密ドライバー

時計の分解と組み立てに必要なのが精密ドライバー。プロの時計技術者は作業を正確に、そして確実に行うためにドライバーの先端をそれぞれのネジに合わせ加工する。



Company Award

企業賞・コンテスト

企業賞や学内外のコンテストで功績を上げるヒコの学生たち。
日頃の学びを成果につなげ、数々の輝かしい結果を残しています。

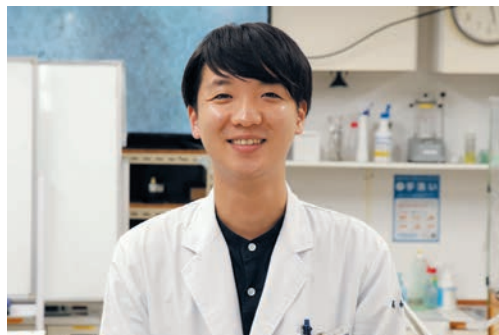
（世界最高峰のブランドでトレーニングを体験！）

対象企業は世界最高峰といわれる「パテック フィリップ社」と数々の世界的有名ブランドを有する「リシュモングループ」。
選ばれた学生はスイスやドイツにあるトレーニングセンターに招待され、約2週間の研修を受けることができます。

PATEK PHILIPPE AWARD

パテック フィリップ賞

1839年創立、スイス時計の頂点を極める名門ブランドである「パテック フィリップ」。どんなに古いモデルでも修理可能な信頼性から、『真に代々受け継いでいくことができる唯一の時計』とも言われており、究極の複雑時計と称される「キャリバー 89」を生み出すなど、時計史に燦然と輝く数々の歴史的名作をプロデュースしています。世界各国の時計学校で提携、実施されている人材育成プログラムである「パテック フィリップ賞」。アジア地域の対象校は本校のみで、今年で17回目を迎えました。



2020年パテック フィリップ賞受賞

高村 康平さん

(パテック フィリップ ジャパンに就職内定)

RICHEMONT AWARD

リシュモン・アワード

1988年スイスにて設立された「リシュモン グループ」。ウォッチ、ジュエリー、レーザー、ファッション、ステーションナリーの高級ブランドを数多く傘下におさめています。伝統と格式に富んだ完全招待制のSIHH(国際時計見本市)に参加し、高度な技術力と芸術的意匠の高級時計を発表しています。2008年よりスタートしたリシュモン・アワードの過去の研修先は、ヴァンシュロン・コンスタンタン、A.ランゲ&ゾーネ、オフィチーネ バネライ、カルティエ、ピアジェなど名だたるブランドばかり。13回目を迎えた今回の研修は「IWC」で実施されました。



2020年リシュモン・アワード受賞

都築 麻央さん

(リシュモン ジャパンに就職内定)

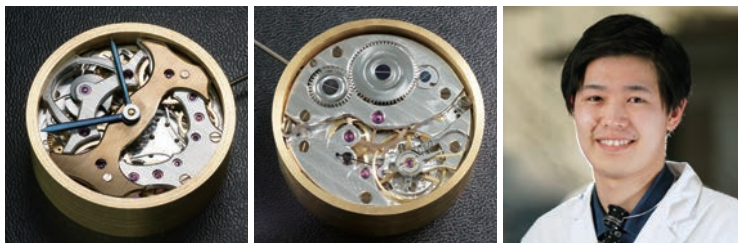
（学んだ技術の力試しの場にチャレンジ！）

何度も試行錯誤を繰り返す製作期間、血のにじむような厳しい訓練期間を経て臨むコンテスト。
学生たちは日々研鑽した技術を発揮するために万全のコンディションで本番に臨みます。



ランゲ・アワード

優れた時計師の育成を目的に、
A.ランゲ&ゾーネが2010年より主催。
毎回創造性豊かな作品が出そろいます。



世界中の学生が集うコンテストでグランプリを獲得！

世界最高峰の時計メーカーの一つA.ランゲ&ゾーネで行われたスカラシップ&アワードに、ウォッチメーカーマスターコースの篠原さんが参加。世界各国の時計学校から選抜された6校8名の学生がドイツ本社で行われたワークショップに集い、そこで発表された課題に挑みました。2019年の課題は“レトログラード”という、針を往復運動させて表示する機構を追加せよというもの。8ヶ月の制作期間の後、篠原さんは、一般的には針が瞬間的に戻るものが多いこの機構を、あえてゆっくりと戻すという機構を搭載した時計を完成させました。その斬新的なアイデアと、バランスの取れたデザインが評価され、見事グランプリを獲得しました。



技能五輪全国大会

各都道府県から選抜された、
原則23歳以下の若者たちが
“技能の日本一”を競う技術のオリンピック。



若手技術者の競技会で快挙を達成！

国内の名だたる時計メーカーから、存分に練習を積んだ選手が参加する非常にレベルの高い大会に、本校学生も毎年出場しています。「時計修理」職種は傷つき、具合が悪くなった時計を直す技能で、時計の修理に必要な技術・知識・センスを競います。腕時計と機械式ムーブメントを分解・洗浄したり、組み立てや不具合箇所の検出などを行い修理する課題と、時計の修理に必要な部品製作、バンドの傷修理を行う課題があり、時計のズレを0秒に近づけるための高い技能が要求されます。時計修理における総合的な力を要求されるこの大会において、2020年にはウォッチメーカーマスターコースの三原さんが敢闘賞を受賞。ヒコとしては通算4人目の敢闘賞獲得となりました。

Special Class

特別授業

世界を代表する人気時計企業の技術者を招いた講習会や、国内時計産業を牽引する有名企業の工場見学など、さまざまな授業を開催しています。

自社開発ムーブメントの講習会を実施

< ブライトリング・ジャパン株式会社 >



ブライトリング社が2009年に発表した自社開発の「クロノグラフキャリアー 01」に関する講習会を本校学生のために特別に実施していただきました。内容はムーブメントの耐久性・精度、そしてメンテナンスまで考えた設計についてのレクチャー。学生には開発された時計が配られ、分解・組立ての実習までを行いました。講師はブライトリング・ジャパンの技術トレーナーで本校OBでもある林 繁氏。熟練トレーナーの解説と作業実演に、学生たちは惹きつけられました。

企業連携特別授業を実施

< シチズン時計マニュファクチャリング株式会社 >

シチズン時計の社員教育を担当するシチズン時計学校の講師をお招きした企業連携特別授業では、学外の評価基準でスピードとクオリティを競い合うコンテストを実施。優秀者3名を表彰していただきました。



協和精工 皆瀬工場での学外研修

< 協和精工株式会社 >

高度な技術が必要とされるザラツ研磨を用いた鏡面加工と、所有の特許技術によるMORE構造が特徴である時計ブランド「MINASE」を展開する協和精工を訪問。「ザラツ研磨」、「ペルラージュ仕上げ」を体験させていただき、精密なモノづくりの現場に触れることができました。



オメガブティックでの学習体験プログラム

< スウォッチ グループ ジャパン株式会社 >

東京は銀座、大阪は心斎橋にあるオメガブティックを訪問。本校学生用に特別にご用意いただいた接客マナー、試着体験、ディスプレイ体験などの学習プログラムを経験しました。接客の難しさと緊張感、お客様と触れ合う楽しさを学ぶことができました。



学生がデザインした時計が商品化

< 株式会社 Knot >

「MADE IN JAPANの品質とデザインに優れたリストウェアで日本と世界を結ぶ」を企業ミッションにかけるKnotとのコラボレーション授業を実施。学生がデザインした文字盤を使用した時計が、クラウドファンディングで資金を集め実際に発売されました。



Event
イベント

海外研修旅行や学園祭など、通常授業以外にも
さまざまな学びの場が準備されています。

海外研修旅行



1 タグ ホイヤー社にて、プロの時計師の作業を見学 / 2 ジュネーブのアンティーク蚤の市 / 3 独立時計師との夕食会 / 4 ヴァシュロン コンスタンタン社にて



スイス研修旅行 主な訪問先企業 (又はアトリエ)

A. ランゲ & ソーネ	オメガ
オーデマ ピゲ	パテック フィリップ
ブライトリング	グルーベール・フォルセイ
フィリップ・デュフォー	ショパール
パネライ	タグ・ホイヤー
IWC	ヴァシュロン コンスタンタン
ジャガー・ルクルト	ゼニス
カルティエ	ジラルール ベルゴ
ブレゲ	

※研修旅行は希望参加

憧れのフィリップ・デュフォー氏の工房を訪問

“スイス時計業界の至宝”と呼ばれる世界最高峰の独立時計師、フィリップ・デュフォー氏。本校とは親交が深く、来日の際はワークショップを開催していただいています。海外研修では、「グラン・ブチ・ソヌリ・ミニッツリピーター」や「シンプリシティ」が生み出された聖地ともいえるデュフォー氏の工房を訪問。時計製作についてのレクチャー、仕上げ作業の体験などを実施する充実の内容でした。



LINE官方帳號

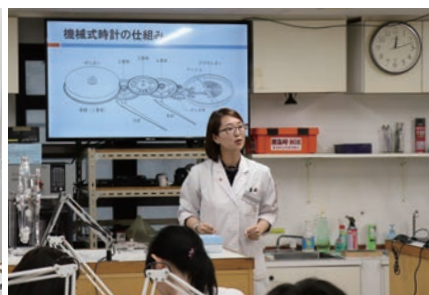
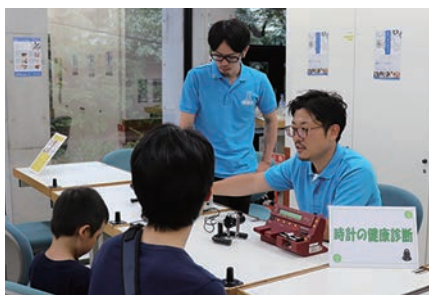
@nihonmura



時の記念日イベント

時計の重要性、 大切さを学ぶ

日本で初めて時計装置が使われた日を記念して制定された「時の記念日」。毎年6月10日のその日に合わせて、ヒコでは「時計フェスタ610」を開催しています。独立時計師などのスペシャルゲストをお招きしての特別講義、お手持ちの時計の状態をチェックするウォッチコンシェルジュなど、さまざまなイベントを企画し、お客様をお迎えます。時間の正確さが日本の国民性と言われるまでになり、鉄道や航空機の定時運行が世界一と言われるまでになったのも、時の記念日の創設にその原点のひとつがあるととっても過言ではありません。このイベントは普段あまり意識しない「時間」について、改めて深く考える良いきっかけとなっています。



学園祭プロジェクトーリペア時計販売

掘り出し物が出そう、 毎年注目の企画

ヒコの学園祭「MUG(マグ)」でお馴染みになっているウォッチコースの企画「リペア時計販売」。学生たちが自ら分解、洗浄、修理を行った時計を販売します。また学生たちが用意した商品以外にも、講師の貴重なコレクションなど目玉商品も多数出品されるので毎年大いに盛り上がり、学園祭の大きな名物となっています。当日の接客やブースのレイアウトなども学生が自分たちで行うこの企画。学園祭1日目には開場前から校門の前に列ができるほどの人気ぶり、初日にして大部分が売れてしまうほど毎年大盛況となっています。



Other program

その他の学び

通常の授業の他に時計の世界をより深く学べる講座を毎年実施。
さらなる技術習得を目指す学生へ向けてのプログラムです。

スキルアップゼミ

年間3ターム開講するスキルアップゼミ。ムーブメント装飾、時計針や時計バンド制作など、普段の授業では体験できないプログラムも開催され、学生に大人気です。毎年実施内容が変わるので、いろいろな講座を受講することができます。

過去の開講実績

- 巻上げヒゲ製作ゼミ
- スチールパーツ仕上げゼミ
- 時計パーツ装飾ゼミ
- 時計針製作ゼミ
- 時計バンド製作ゼミ 等



研究生ラボ

東京校ウォッチメーカーマスターコース3年生を対象に、時計製作を体験できるプログラム。時計旋盤を始め、さまざまな工具の知識や使用法を習得します。製作の基本を全20回のプログラムで身につけられるよう無理なく達成できるように組まれています。

プログラム概要 全20回

- ETA6497ベース
ツールピヨンキット
- 部品製作
- 歯車の加工
- 工具使用法(時計旋盤ほか) 等



Watchmaker postgraduate program

時計製作 研究生制度

ウォッチメーカーマスターコース卒業後、時計製作に特化した1年間の研究生制度を東京校に設置。
専門課程で学んできた修理技術を応用し、世界にひとつだけの
手づくりの機械式時計を製作するプログラムです。

次世代を担う若き時計師を育成

自らの理想とする作品を追求し続ける独立時計師たち。その偉人たちの技を学び、さらなる高みを目指し、時計製作を学ぶ1年間のプログラムです。独立時計師として活躍する卒業生の菊野講師の指導のもと、毎年2月には1年かけて製作した時計を発表する修了展を行います。

※募集人数に満たない場合は開講いたしません。



特別講師
菊野昌宏



TOPIX

2020年度 卒業制作展開催



時計製作研究生として1年間取り組んできた作品づくり、そのお披露目の場がこの卒業制作展になります。今年は5名の研究生が時計製作に挑み、見事完成。フライバック機構搭載のリストウォッチや和時計、リピーター、振り子のクロックなど。例年にも増して力作が並びました。

日本人初の快挙

「ヤング・タレント・コンペティション」を受賞!



世界中から優秀な時計師の卵を探し出し、その中で最も将来性のある優秀な若者に賞を授与する「ヤング・タレント・コンペティション」。2020年の優勝者に研究生出身の関さんが選ばれました。日本人が受賞するのは関さんが初めてで、その偉業は大きなニュースとして取り上げられました。

Lecturers

講師陣

セイコーの元ウォッチ事業部長、有名時計店ウォッチメーカーなど、高い技術と経験を誇る講師陣。
最高の技と最新の知識を得ることができます。



学科長
時計技術担当

大友 宏幸

本校卒業後、スイスにて研鑽を積む

時計の世界に進むための チャンスを掴んでください

未知の世界を学ぶこと。それは楽しい反面、不安なこともたくさんあると思います。とくに時計という特殊な世界であればなおさらです。ですが本校に入学される方のほぼ全員が、時計に関して初心者の方です。私たち講師や、何十年とキャリアのある職人も最初は必ず初心者、誰でも同じ道をたどるのです。そう考えると不安も少し和らぎませんか？ スイスで働く、独立時計師として活躍する、そんなことも夢ではありません。在学中にはチャンスが沢山転がっています。そのチャンスを大いに活かして、魅力ある時計の世界に進んで欲しいです。

時計技術担当 野島 愛美

本校卒業後、講師として従事

時計が再び動き出す感動を 多くの人に味わってほしい

機能、デザイン、ファッション、資産価値等々。私が思う時計の魅力は、好きになる要素が多角的にあるということ。かくいう私もファッションから時計の世界に興味を持ちました。実は丁寧な作業を必要とされるウォッチメーカーは、女性に向いている職業だとも言われているんです。精魂込めて修理したムーブメントが再び動きだした時の感動は格別のものがあります。そんな感動をもっと多くの人に知ってもらいたいです。特に私と同じように時計に興味を持っている女性の皆さんが、ウォッチメーカーへの道を選んでくれたら嬉しいですね。



時計技術担当

小倉 政人

元 平和堂貿易(株)
ウォッチメーカー

時計技術担当

長沼 寛樹

元(株)三起
ウォッチメーカー

時計技術担当

亀谷 友耶

本校卒業後講師
として従事

時計技術担当

妹背 修平

1級時計修理技能士
元(株)ケイ・ウノ ウォッチメーカー

時計技術担当

小林 亜希朗

元(株)ウォッチラボ
ウォッチメーカー

時計技術、金属加工担当

山本 健司

本校卒業後、38年間
講師として従事

時計技術担当

牧原 大造

DAIZOH MAKIHARA 主宰
スイス独立時計師協会準会員

ウォッチコース研究生担当

菊野 昌宏

スイス独立時計師
協会メンバー

時計技術担当

井上 一夫

1級時計修理技能士
元 シチズン時計(株)ウォッチメーカー

時計技術担当

越智 堯

1級時計修理技能士
元シチズン時計(株)
大阪サービスセンター所長





時計理論担当 依田 和博

元 セイコーインスツル(株) ウォッチ事業部部長
世界初の液晶デジタルウォッチの開発などに携わる

「時間とはなにか？」 から始まる学び

皆さんがこれから学んでいくのは1秒を刻んでゆく機械。まずその「1秒とはなにか？」に関心を持ってほしいです。時計理論では三角関数やルートの計算など、難しい数式も登場するので、尻込みする学生も少なくありませんが、使用するテキストは初心者の方でもわかるように監修されていますので安心してください。加えて液晶デジタル式腕時計の開発秘話、東京オリンピックでセイコー社のストップウォッチが公式計時として選ばれたときの話など、私の持っている知識や経験を、若い皆さんに伝えていければと思っています。

外装知識・デザイン担当 杉林 研一

元 セイコーインスツル(株) チーフデザイナー
ミラノ駐在事務所所長

想いがこもったものに 関わっていける面白さ

私が学生に望むことは、時計を好きになってほしいということ。入学してくる学生たちは時計に詳しいわけではなく、「きっかけは職人という仕事にあこがれを持ったから」という方もたくさんいます。修理にきた時計を見て、このブランドはこういう歴史があって、業界としてはこういう立ち位置にある。きっとこれを買った人はこういうところが好きだったんだろうな、ということを押さえて仕事に臨んでほしい。人の生活に寄り添い、長年使われることにより想いが込められていく時計。その仕事の面白さややりがい、きっとそこにあるのではと思います。



時計技術担当 阿久津 秀雄

シチズンカスタマーサービス(株)顧問

時計技術担当 小林 達史

アンティークウォッチ店
「CUE vintage watch」主宰

時計技術担当 壽藤 隆一

KIYOMI'S ANTIQUES
技術スタッフ

時計技術担当 塚本 将史

塚本ウォッチサービス 代表

時計技術担当 櫻井 茂人

元リシュモンジャパン(株)
ウォッチメーカー

金属加工担当 宮尾 豊

本校ジュエリーデザイン
プロダクトコース卒

金属加工担当 木村 望

フリークラフトマン

金属加工担当 伊藤光紀

1級貴金属装身具製作技士

外装知識・デザイン担当 丹波孝浩

DIR DESK デザイン事務所 代表



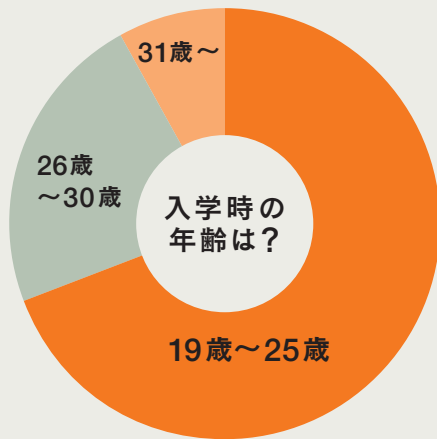
STUDENT'S

Voice

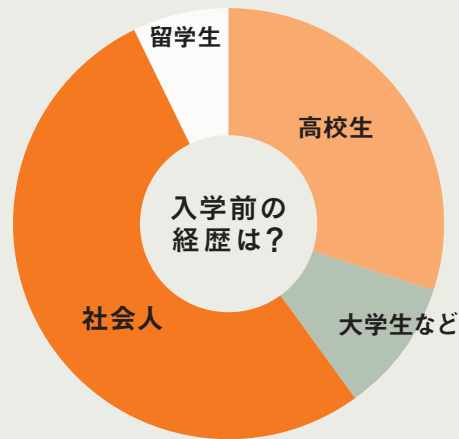
「時計が好き」「手に職をつけたい」、学ぶきっかけは人それぞれのウォッチコース。
ひとつ共通していることは、誰もが初めてのスタートということ。
時計という未知の世界に飛び込んだ学生たちをご紹介します。

STUDENT'S DATA

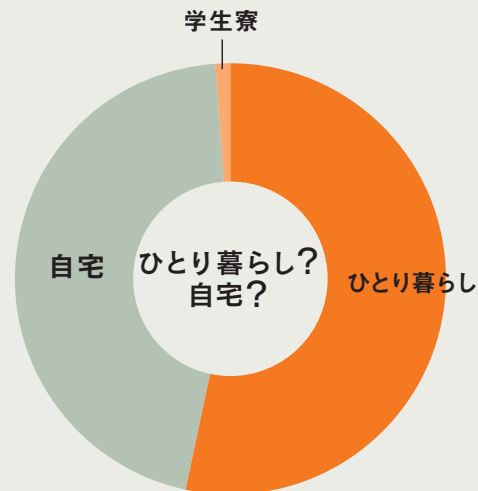
どんな人が通ってる？ ヒコ生に聞きました。



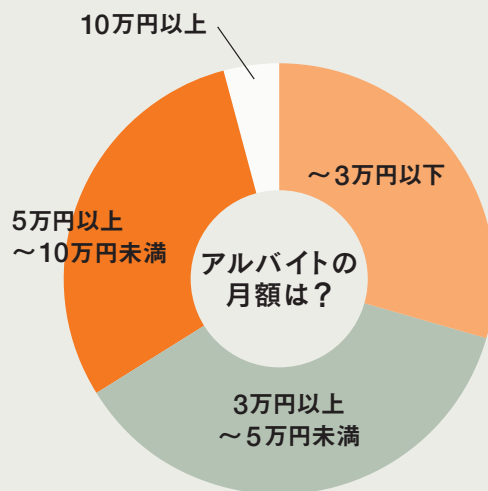
年齢層の幅広さが特長。
20代後半から30代の方が全体の2割強を占めています。



さまざまな経歴を持つ方が時計技術者を目指しています。
最近は手に職をつけたいと入学される社会人の方が増えています。



時計修理技術を修得する学校は世界的にも少なく、
毎年遠方から入学される方も数多くいます。



週5日のうち2日間は半日の授業。
アルバイトをする時間も比較的とることができます。



NAME

増田 隼之介さん

COURSE

大阪校
ウォッチメーカーコース 1年

PROFILE

兵庫県出身 19歳

NAME

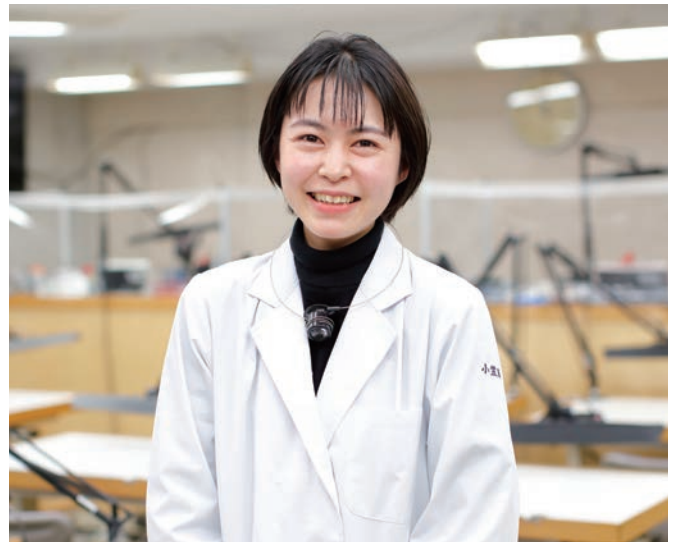
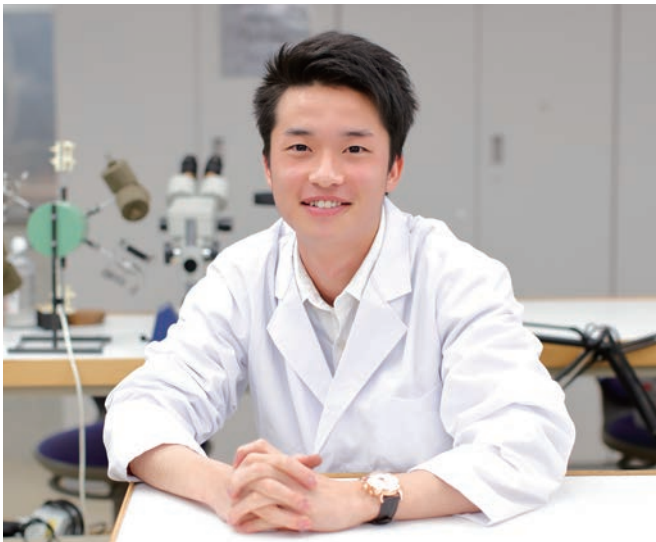
小笠原 洵菜さん

COURSE

大阪校
ウォッチメーカーコース 1年

PROFILE

京都府出身 26歳



スイス研修でさらなる高みを目指す

高校生のとき、たまたま『情熱大陸』で見た時計師の菊野昌宏さんの姿に衝撃を受けました。「自分がやりたいのはこれだ!」と確信し、大学進学を勧める父を1年以上かけて説得して、ヒコに入学しました。

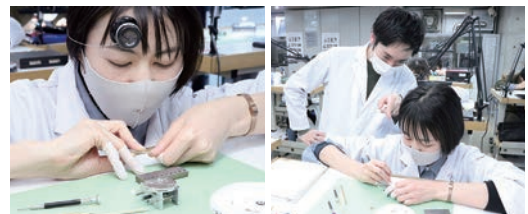
もともと細かい作業が得意だったので、ある程度自信はあったのですが、入学して感じたのは「ここで、そういう人たちの集まりなんだ」ということ。上には上がいるんだと気づかされ、悔しくて何度も家で反復練習をしました。その成果もあり、スピードもクオリティも徐々に上がってきたと感じています。企業賞の選抜メンバーにも選ばれたので、今は東京での選考会に向けてトレーニング中。入学前から目標としていたスイスでの研修を勝ち取るために、とにかく技術を磨いていきます!



ずっとつき合っている技術と出会えた

大学に進んだものの、しっくりこなくて退学。それから本当にやりたいことを探し続ける日々でした。「手に職をつけたい」と思い、さまざまなことを体験する中で“ハマった”のが時計の修理。体験入学では全然上手にできなかったけれど、だからこそこれを「できるようになりたい」と強く思ったんです。学び始めて感じるのは、時計の世界の奥深さ。難しいことが次から次へと出てくるから、飽きるということがない。ずーっと長くつき合っている技術だと思っています。

時計には、機械としてのおもしろさだけでなく、「世代を超えて受け継がれていく」という性質にも魅力を感じています。いつか大好きなアンティークの時計に携わることができたらうれしいですね。



NAME

ケビン アグスティノさん

COURSE

大阪校
ウォッチメーカーコース 2年

PROFILE

インドネシア出身 26歳

NAME

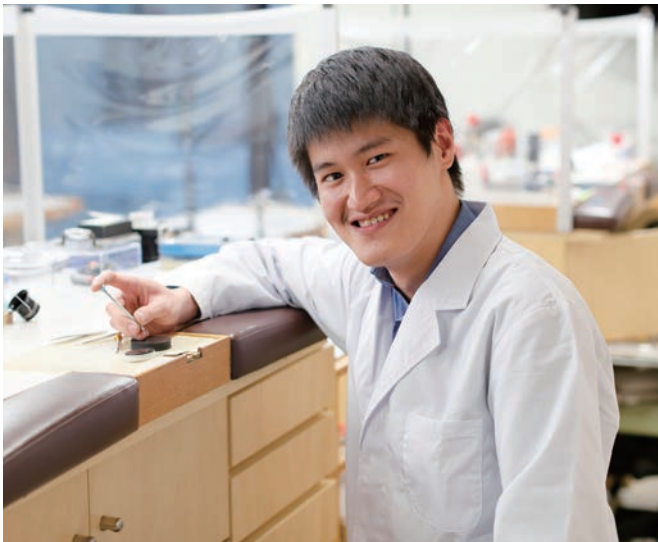
土田 時也さん

COURSE

東京校
ウォッチメーカーマスターコース 1年

PROFILE

茨城県出身 19歳



時計には歴史とストーリーがある

幼い頃からモノづくりが好きでした。実家が時計店を営んでいることもあり、自然な流れで時計を学ぶことに。今は、「時計は、一生勉強」という先生の言葉は真実だと実感しています。毎日が新しい学びの連続なので。ときには一日中取り組んでも直せないほど難しい課題に、落ち込むことも。でも先生にアドバイスをもらい、背中を押してもらって少しずつ自信がついてきました。

僕を感じる時計の魅力は、歴史とストーリーがあることです。例えばジャガー・ルクルトのレベルソ。「ボロの選手たちが競技中につけても壊れないよう、耐久性を追求して作られた、最初のスポーツウォッチと言えるもの」というストーリーを知って、すごく欲しくなりました。今後は内定した日本の会社で、さらに経験を積んでいきたいです。

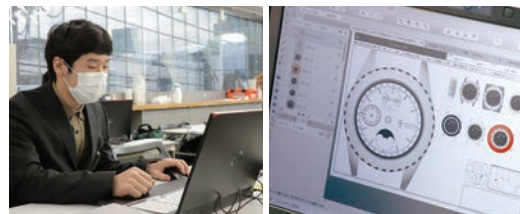


難しいほどやる気が湧く時計の学び

物心ついた時から時計が好きで、高校1年生のときにはもう時計の仕事に就きたいと決めていました。ヒコを初めて見学したのも高1のとき、先生と学生の距離が近く、フレンドリーな学校なんだというのが第一印象でした。その後、高2になって父親と来校したときに、大学進学を推していた父を説得し入学の許可をもらいました。

自分の好きなことを勉強しているので学校は本当に楽しいです。もちろん課題は難しく苦戦することもあります。茨城からの通学で片道2時間かかるのですが、毎日が充実しているからか、長い通学時間も特に気にならないです。

時計製作にも興味があるので、研究生制度も視野に入れて時計の勉強に励みたいと思います。



NAME

石田 啓明さん

COURSE

東京校
ウォッチメーカーマスターコース 2年

PROFILE

東京都出身 26歳

NAME

都築 麻央さん

COURSE

東京校
ウォッチメーカーマスターコース 3年

PROFILE

愛知県出身 23歳



次の夢として選んだ時計師への道

ヒコに入学する前はピアニストとして活動していました。体調を崩してその道を断念することになり、次に何をしたいかと考えたとき、昔から興味があった時計の世界に思い当たったんです。入学してからは自分は細かい作業が案外好きなんだなということにあらためて気づきました。ピアノと時計修理、手先を使う点では近いところがあるのかもしれない。

クラスはさまざまな年齢や経歴の人がいて楽しいですね。皆で時計店巡りとかしています。同じ志で学ぶ仲間同士、結束は固いと思います。

今の目標は丁寧にしっかりと授業をこなしていくこと。そしてゆくゆくは音の鳴る時計(ミニッツリピーター)を自分の手で作れたら嬉しいですね。

入学してからハマった時計の世界

実は私、ホームセンターにずらーっと並んだ工具を見るとワクワクするという「機械好き」で、特に「時計好き」ではなかったんです。そんな私が入学を決めたきっかけが、高校生のとき参加した体験入学。分解した時計を組み立ててテンプを載せた瞬間に針が動き出した様子に感動して…。まさにやりたいことに出会った瞬間でしたね。入学した当時は機械式時計とクォーツの違いもわかりませんでした(笑)。だから毎日が発見の連続。工具は自分で作るということや、洗ったり注油したりという工程があること。いろんなことを学んでいくうちに、すっかり時計が好きになりました。時計修理は最初から最後まで自分で完結できることも好きですね。私みたいに機械いじりが好きなひとは絶対にハマると思います!



就職

ウォッチコースは開設以来毎年、高い就職実績を誇っています。
一流講師陣からの高水準な教育、卒業生の活躍による業界からの厚い信頼、
進路相談室によるきめ細やかな就職サポートがその理由です。

2021年3月

就職結果

(就職希望者の内定率)

東京校

100%

大阪校

90.9%

求人倍率

2.48倍

(学生1名に対する求人数)

内定企業一覧 (2021年3月卒 抜粋)

PP Japan (パテックフィリップジャパン)	●25歳・男 ●22歳・男	ジェムキャッスルゆきざき	●22歳・男
リシュモン ジャパン	●23歳・女	シムサムメディア	●22歳・男
日本ロレックス	●24歳・男 ●26歳・男	白金堂	●24歳・男
セイコータイムラボ	●20歳・男 ●21歳・男	タイムマスター	●32歳・男
	●21歳・女 ●27歳・男	テクノタイムサービス	●27歳・男 ●27歳・男
ITEM	●26歳・女	Tempus	●22歳・男
石国	●21歳・男 ●27歳・男	東北ウォッチサービスセンター	●27歳・男
エキップメント	●22歳・男	長野商店	●28歳・男
エンハンス	●25歳・女	南安精工	●24歳・男
大阪中央時計修理センター	●21歳・男	日新堂	●20歳・男 ●21歳・男
近江屋	●44歳・男		●21歳・男
カミネ	●26歳・男	バリュエンスホールディングス	●23歳・男 ●25歳・男
共栄産業	●21歳・男 ●22歳・男		●28歳・男 ●32歳・男
	●33歳・男 ●45歳・女	マサズバスタイム	●23歳・男 ●26歳・男
クロワール	●21歳・女 ●32歳・男	道又時計店	●21歳・男
クラン	●24歳・男	ミノル	●33歳・男
グローバルワークス	●27歳・男	リテイラーズ・スフィア	●30歳・男
斎気	●22歳・男	ルノータス	●24歳・女
三貴商会	●25歳・男		



内定者紹介

入学時は全員まったくの初心者でしたが、ヒコで技術を学び、
憧れの企業に内定を決めた学生たち。
未経験から時計職人へ、夢を実現させた皆さんをご紹介します。

日本ロレックス 株式会社 内定



ウォッチメーカーマスターコース 3年

岡 直輝さん (23歳)

職種：修理職

思い立ったら動いてみる！それが大事

求人の中にロレックスを見つけたときは、これは挑戦しない手はない！と思いました。ですが試験本番はなかなかうまくいかず…。そんな状態だったので内定の通知をいただいたときはめちゃくちゃ嬉しかったです。今自分がこういう結果を残せたのは、入学の決断が早かったからだと思っています。興味を持ったらとやまず動いてみる、それが大事ですね。

企業データ

腕時計におけるバイオニアのブランド。オイスター(世界初の防水腕時計)やパーペチュアルローター(自動巻き機構)など数多くの革新的技術を開発。

セイコータイムラボ株式会社 内定



ウォッチメーカーコース 2年

安井 大輝さん (20歳)

職種：修理職

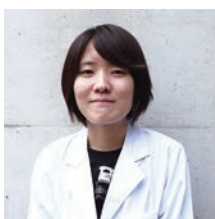
希望していた時計修理師の道へ

高校卒業後ヒコへ入学したので就職活動は初めての経験。一次面接はすごく緊張してしまいました。そこで就職担当の先生にアドバイスしてもらうことで、二次面接以降は落ち着いて話すことができました。面接で足を運ぶ度に、アットホームな雰囲気と仕事内容に魅力を感じ「働くならこの会社！」と強く思うようになっていたので、内定の連絡をもらった時は本当に嬉しかったです。

企業データ

日本を代表する時計メーカーの『SEIKO』を中心とした腕時計の修理・メンテナンスを行う。適確・迅速・高品質な修理サービスを提供。

株式会社ルノータス 内定



ウォッチメーカーコース 2年

小野寺 紫さん (24歳)

職種：企画デザイン職

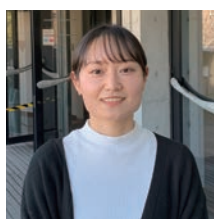
他にはない個性あるデザインを生み出したい

文字盤デザインの授業受けてから、時計の企画やデザインの仕事も面白そうだなと興味を持つように。もともと美術系大学でイラストを勉強していたので、これまでの経験も活かせるのではと思いました。ルノータスは、フルカスタムオーダーの腕時計を販売する会社。修理だけでなく、企画・デザインに携われるので、いつか私が企画した時計が販売されるのを目標に頑張りたいです！

企業データ

ジャパンメイドの高品質でありながら、手軽にフルカスタムオーダーの腕時計が作れる話題の腕時計ブランド。

株式会社エンハンス 内定



ウォッチメーカーマスターコース 3年

田上 采和さん (23歳)

職種：修理職

さまざまな時計修理を経験したい

入学当初は就職するならメーカーへと思っていましたが、就職活動の途中でさまざまな時計の修理を手掛けることのできる修理専門会社にシフトチェンジ。大手百貨店で修理受付センターを運営するエンハンスであれば、しっかりとした技術を身につけることができると思い志望しました。当面の課題は作業スピード。効率よく仕事をこなせるよう、技術を磨いていきたいです。

企業データ

小田急百貨店 新宿店、松坂屋 上野店など、4つの百貨店の時計アフターサービスを担当する時計修理専門会社。

就職サポート・資格

就職専任スタッフが時計業界を目指す学生をサポート。
年間を通して、就職に関するイベントや個別相談を実施しています。

（ 就職サポート ）

「履歴書添削」や「模擬面接」はもちろん、さまざまな就職ガイダンスも開催しています。

豊富な企業データ

進路相談室では、約330社の時計企業データを登録。保管している企業資料も常時閲覧できます。また、ウォッチメーカー（技術専門職）の求人は、本校のみに頂くケースが多いのが特長。公開される独自の求人票には、企業概要はもちろん詳しい仕事内容や待遇など役立つ情報がぎっしり詰まっています。

認可校のメリット

本校は学校教育法認可の専門学校。校舎設備からカリキュラムまで厳しい認可基準をクリアしており、卒業生に与えられる専門士の称号は、質の高い環境で実力を身につけた公的な証です。また、厚生労働省から就職斡旋を許可されているため、企業からの信頼も厚く、将来の選択肢が広がります。

きめ細やかな個別指導

企業研究の仕方、自己分析、履歴書添削、面接のノウハウなど、クラス担任と進路相談室スタッフがきめ細やかに個別指導。また、求人開拓のために、企業の人事担当者や卒業生との接触も年間を通して実施。景気が低迷する中、こうした努力こそが求人の確保につながると本校では考えています。

就職イベント

進路相談室スタッフによる個別指導のほかに就職ガイダンス（就職活動の流れや業界の最新情報の紹介）、模擬面接、ビジネスマナーゼミ、本校学生のみが対象の企業見学会など、業界とのつながりをいかしたさまざまなイベントが、年間を通して開催されています。



就職試験レポート

就職試験や面接で聞かれたことなどの細かい内容を受験企業ごとに「就職試験レポート」として学生に提出してもらい、先輩へのアドバイスになるように保管しています。先輩の残してくれたレポートで、事前に受験企業の傾向と対策を練っておけば本番も安心。企業選択にも役立っています。



（ 資格 ）

時計に関する資格試験に関して、実務経験や実技実習が免除されるヒコ生。
資格取得に向けての対策授業も開催しています。

時計修理技能士資格

実務経験がないと受験資格を得ることができない国家資格。本校の学生は実務経験免除で1年次に3級を受験、合格後2級の資格取得にもチャレンジできます。

ウォッチコーディネーター資格

ウォッチを扱う販売員の能力の維持・向上をはかるために、日本時計輸入協会が2012年に創設。本校の学生は筆記試験合格者に義務づけられている実技実習が免除されます。

リクルートイベント 「HELLO」

学生と企業をむすびつける本校独自のリクルートイベント「HELLO」。
企業は優秀な学生にコンタクトを取る場として、
学生は企業に直接自己アピールできる場として、毎年大いに活用されています。

リクルートイベント「HELLO」は学生と企業をマッチングさせる就職イベント。人材を求める企業のご担当者をお招きし、学生が時計技術や工具の扱い、接客対応などで自分をアピールします。例年日本ロレックスをはじめ、LVMHウォッチ・ジュエリージャパン、スウォッチグループジャパン、セイコータイムラボ、シチズンカスタマーサービスなど、30社以上にご来場いただき、学生の熱いアピールに熱心に耳を傾けていただいています。終了後は企業からコンタクトのあった学生も多数！このイベントきっかけでの内定者も続々と出ており、非常に充実したイベントとなっています。

[来場企業実績]

RKエンタープライズ、ITEM、アトリエキノコ、アルファオメガ、UNDONE、石国、ウエニ貿易サービスセンター、ウォッチ・ホスピタル、エムヴィ、LVMHウォッチ・ジュエリージャパン、エンハンス、大沢商会、木村時計店、共栄産業、協和精工、クラン、グローバルワークス、シチズンカスタマーサービス、スウォッチグループジャパン、セイコータイムラボ、大夢工房、テクノタイムサービス、Tempus、日新堂、日本ロレックス、ネクストステージ、HAPPY PRICE、ミノル、ラプター



修理職希望の学生は分解・組立のデモンストレーション、販売や修理受付職希望の学生は、接客や課題説明のデモンストレーションで自己PRを行いました。

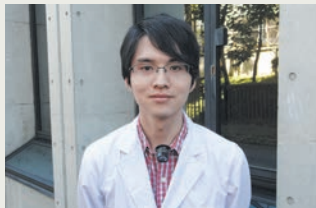
Pick up

HELLO での内定者 (2019年度実績)

ウォッチ・ホスピタル株式会社

内定職種: 修理受付職

村岡 康平さん (29歳)



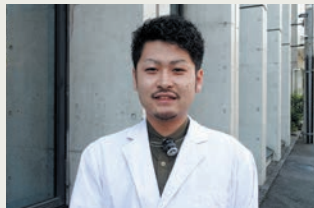
企業データ

2007年設立。メーカーで受けることのできない修理も対応するなど、幅の広い修理受付に定評がある時計修理専門会社。神田、八重洲口など都内に4店舗を展開。

株式会社 HAPPY PRICE

内定職種: バイヤー

福井 勇太さん (26歳)



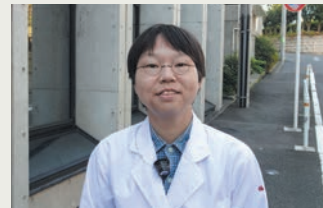
企業データ

中古品時計を全世界へ輸出。扱う時計は多岐にわたり、超高級時計からファッションウォッチまで、月に3000本以上を扱う。日本オークション協会の運営も行う。

株式会社 石国

内定職種: 修理受付職

福田 綾香さん (36歳)



企業データ

小田急百貨店 新宿店、松坂屋 上野店など、4つの百貨店の時計アフターサービスを担当する時計修理専門会社。

校舎・設備

優れた環境で学ぶことは、技術者を育てる大切な要素。

本校では、スイス水準の機材や工具を設置し、企業と同じレベルの設備を整えています。



- 1 技術教室の作業机は、長時間作業がしやすいように設計されたウォッチメーカー専用のもの。 ※写真は東京校教室
- 2 時計部品の汚れを洗浄する超音波洗浄機。
- 3 空気圧を使ってケースの防水を検査する防水試験機。
- 4 受けに取り付けられた穴石の位置を調整する穴石調整器。
- 5 時計に帯びた磁気を除去する脱磁器。
- 6 1日あたりの歩度(進み・遅れの度合い)を測定する歩度測定器。



新型コロナウイルス 感染防止対策

本校では、文部科学省が作成した新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル等に基づき、コロナウイルス感染予防対策を実施し、学生が安全・安心に学校生活を送ることができるよう配慮しております。

FACE MASKS



学内では、学生・教職員共に全員マスクの着用を必須としています。

DISINFECTION



校舎入口や各教室前には手指消毒液を設置しており、入室前の消毒を徹底しています。

TEMPERATURE CHECK



登校時には全員にサーモグラフィカメラや非接触型体温計による検温を行っています。

SOCIAL DISTANCING



学生ホールなどの共有スペースは一定の距離を保って利用していただいています。

VENTILATION



教室は出入口を開放。換気の良い屋外でも過ごせるよう中庭にテントを設置しています。

学校法人 水野学園

専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ

〒150-0001

東京都渋谷区神宮前 5-29-2

学校代表 TEL : 03-3499-0300 E-mail : info@hikohiko.jp

0120-00-3389

学校法人 水野学園

専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ 大阪

〒550-0014

大阪府大阪市西区北堀江 2-14-3

学校代表 TEL : 06-6537-4333 E-mail : osaka@hiko-osaka.jp

0120-701-777

<https://watch-hiko.jp>



日本村有限公司 NIHON MURA CO.,LTD. <https://news.nihonmura.tw>
10552 台北市松山區復興北路73號7樓之2 TEL:(02)8772-7977 aiueo@nihonmura.com
營業時間: 週一/六 9:00-17:00, 週二-五 9:00-21:00(日本遊學・留學諮詢, 採預約制。)

